

新年のご挨拶

一般財団法人 福井県剣道連盟

会長 片山 外一



新年明けましてお目出とうございます。
今年皆様方におかれましては穏やかなお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。

思い返しますと、丁度2年前の元旦に能登半島大地震が発生しました。あれから2年、その後の豪雨災害もあって復旧は中々進まないようで、改めてお見舞いを申し上げる次第です。

つい昨年の12月8日には青森県東方沖大地震が発生しました。被害が拡大しないことを祈るばかりです。世界的にも異常気象による災害が頻発している上に、ウクライナ、パレスチナでの戦争も中々終息には到らないようです。

また新型コロナウイルス感染症は下火にはなってきましたが、替わりにインフルエンザ、百日咳、带状疱疹などの流行に見られるように、日本人の免



第124号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟

会長 片山 外一

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18

サンライズ二の宮1-B

TEL・FAX (0776) 28-6616

メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

疫環境までもが大きく様変わりしたと言っても過言ではありません。

そのような何が起るか分からない状況の中で、私共は事業計画に従い、順調に1年を送ることができました。そのなかで特筆すべきものの一つは福井県社会人剣道大会の成功であったかと思われまふ。

多くの運動競技や社会活動が、我が国の人口減少、少子高齢化にいいよ直面しております。剣道競技もまた若い人集めが最重要課題で、一層力を入れなければならぬ状況であります。前記のような新規の剣道大会は従来の枠を超えた、そして世代を超えた新しい挑戦の一つとして位置づけられるのではないかと思われまふ。

今年も激動の時代であることが予測されますが、我々の剣道の理念である「剣道は、剣の理法の修練による人間形成の道である」を中心軸に、会員の皆様と共に剣道競技の発展に努める所存でありますので、福井県剣道連盟の活動に倍旧のご協力を賜ります様お願い申し上げます。



【県剣連】第2回福井県社会人剣道大会

開催日 10月26日(日)

開催場所 福井県立武道館



男子団体で武蔵屋、個人戦で末本選手(光武会)、
畑選手(武蔵屋)、松本選手(越前市剣道連盟)、
橋本選手(ブランチュール)、松岡選手(武道学園)が
2連覇!



優勝の松岡剣道教室

10月26日(日)、福井県立武道館で「第2回福井県社会人剣道大会」を開催しました。県内の社会人男女合わせて約200人が参加、年代別に団体戦と個人戦で競いました。結果は次の通りです。

■団体の部

▽男子120歳未満の部

優勝 松岡剣道教室

準優勝 光武会B

3位 ケーズ企画

3位 光武会A



3位の光武会A



3位のケーズ企画



準優勝の光武会B



優勝の武蔵屋

▽男子120歳以上180歳未満の部

優勝 武蔵屋

準優勝 神山剣友会B

3位 神山剣友会A

3位 福井県庁A



3位の福井県庁A



3位の神山剣友会A



準優勝の神山剣友会B



優勝の越前市剣道連盟有志A

▽男子180歳以上の部
優勝 越前市剣道連盟有志A
準優勝 東洋紡稽古会
3位 春江剣道連盟
3位 越前市剣道連盟有志B



3位の越前市剣道連盟有志B



3位の春江剣道連盟



準優勝の東洋紡稽古会



優勝の武道学園なでしこ組

▽女子の部
優勝 武道学園なでしこ組
準優勝 武道学園星組
3位 武蔵屋
3位 福井大学文京キャンパス乙女



3位の福井大学文京キャンパス乙女



3位の武蔵屋



準優勝の武道学園星組

■個人の部

▽男子若武者の部(無段・初段)

- 優勝 甲辰太郎(福井県庁)
 準優勝 竹内基朗(鳥羽育成会)
 3位 宮川慶至(福井刑務所)
 3位 篠崎大輔(あわら)



▽男子武勇の部(30歳未満)

- 優勝 末本裕也(光武会)
 準優勝 森下壮志(光武会)
 3位 北嶋大心(ケーズ企画)
 3位 北嶋和志(ケーズ企画)



▽男子青雲の部(30歳以上40歳未満)

- 優勝 高橋泰平(光武会)
 準優勝 矢部将生(福井ライン)
 3位 富田直斗(光武会)
 3位 岩崎健太郎(有)岩崎自工



▽男子風雅の部(40歳以上50歳未満)

- 優勝 畑祐一郎(武蔵屋)
 準優勝 相模宏二郎(武蔵屋)
 3位 柳川剛(みのり剣道会)
 3位 長谷川一晃(北陸扇商事)



▽男子達人の部(50歳以上65歳未満)

- 優勝 北林直樹(福井県庁)
 準優勝 村中守(武道学園)
 3位 浅井啓孝(大飯地区剣道連盟)
 3位 宮本政和(福井県庁)



▽男子剣聖の部(65歳以上)

- 優勝 松本敏夫(越前市剣道連盟)
 準優勝 宮川保則(越前市剣道連盟)
 3位 齊藤雄彦(春江剣道連盟)
 3位 片山寛次(福井大学医学部附属病院チーム)



▽女子撫子の部(無段・初段)

- 優勝 福渡希保(武道学園)
 準優勝 宮本香緒里(武道学園)



▽女子芍薬の部(40歳未満)

- 優勝 田中更幸(武蔵屋)
 準優勝 小林歩未(武蔵屋)
 3位 石橋沙希(春江)
 3位 崎山実奈(武蔵屋)



▽女子牡丹の部(40歳以上50歳未満)

優勝 橋本一美(ブランドチュール)

準優勝 松村美帆(武道学園)

3位 丸山志織(武道学園)

3位 増山温子(福井県庁)



▽女子百合の部(50歳以上)

優勝 松岡由佳(武道学園)

準優勝 湯浅洋子(武道学園)

3位 山口陽子

(福井大学文京キャンパス)

3位 島田奈美江(武道学園)



■大会総評

審判長 教士八段 岩本 卓也

10月26日(日)、福井県立武道館にて第2回福井県社会人剣道大会が開催されました。団体戦、個人戦ともに昨年を上回るご参加を頂き、福井県の老若男女の社会人が一堂に会した大変賑やかな大会となりました。

・2023年(旧大会) 14チーム
42人 個人戦無し

・2024年(第1回大会) 28チーム
84人 個人71人 協賛社10社
後援企業1社

・2025年(今大会) 38チーム
114人 個人86人 協賛社13社
後援企業2社

昨年の参加者の声や大会アンケートを参考にしまして、今大会では色々と工夫を凝らしました。

まず参加資格ですが、基準を少し緩やかにしました。昨年は、警察官、刑務官、教員並びに学生の出場は不可でしたが、本大会では、学生の出場は不可となりましたが、警察官は特別訓練員歴のない者、刑務官は武道訓練所所属のない者、教員は大学の体育会剣道部の所属歴がない者は出場可とし、できる限り、多くの方が参加できるように配慮いたしました。

次に審判についても次のような工夫をおこないました。各会場にて、

福井県剣道連盟から推薦されたベテランの審判員が主審をおこない、副審は出場選手におこなってもらうことにいたしました。これにより昨年は出場選手のみで審判をおこなったことによる判定の不満がかなり解決できたように感じました。さらに反則行為につきましても1試合1人3回まで注意をおこない4回目から反則をとるという大変緩やかなルールを設けました。これにより、主審は積極的に反則行為を指摘することができ、審判に不慣れな方は様々な反則行為を目的の当たりにし学ぶことができます。そしてなによりも反則で試合がすぐに終わってしまうというようなことがなくなりました。また

審判員の入退場を学んでもらおうということで個人戦の場合、審判の入れ替えは従来の送り出し方式ではなく、3試合ごとの総入れ替えをおこなってもらいました。このように勝負の勝ち負け以外に、審判ルールを学ぶ機会になるような工夫をおこないました。

さらに小道場では、選手のお子さんや友達が剣道を体験し楽しんでもらえるようなキッズコーナーを設けました。25名ほどの参加があり、体験後にお菓子をもらい、子どもたちはみんな大喜びでした。そしてなによりも、大会に参加し

て頂いた選手の皆さま方や大会を運営し協力してくださった皆さま方が、社会人大会を通じて、福井県の剣道人口を増やし剣道界を元気にしていこうという趣旨のもと、積極的に関わって頂いたことがとてもうれしかったです。

選手の皆さまから閉会式が終わったあとで、今回の大会はすごく楽しかったという多くの声を聞きました。大会終了後、帰宅し、一杯飲みながら、NHK大河「べらぼう」を観ていましたら、松平定信が側近に「人は正しく生きたいのではない、楽しく生きたいのです」とたしなめられていたシーンがありました。社会人大会もそうだなあと感じ入って観ておりました。来年はもっと楽しい大会にします。

また皆さまとお会いできることを楽しみにしております。ありがとうございました。

※福井県剣連はこの大会のホームページを開設しました。



↑QRコードをクリックもしくはスマホで読み取ることができます。ぜひお試しください。

全国大会／ブロック大会 本県勢の活躍

第67回全国教職員剣道大会

8月1日(金)
パークアリーナ小牧

第67回全国教職員剣道大会が愛知県小牧市のパークアリーナ小牧で開催され、本県からは団体戦(長野、安原、梅田、澤田、松井)と男子個人の部で梅田圭仁選手(啓新高校教員)、女子個人の部で大西ななみ選手(敦賀高校教員)が出場しました。団体戦は1回戦で徳島県に1対3で敗退、個人戦も梅田選手、大西選手ともに1回戦で敗れました。

試合結果は次の通りです。

■団体戦

▽1回戦

福井県	徳島県
先鋒 長野	ード 西田
次鋒 安原	ーメ 竹内
中堅 梅田	引き分け 森
副将 澤田	ード、コ 谷
大将 松井	メ、メーメ 玉田

※1-3で負け

■個人戦

▽男子

梅田圭仁(啓新高) 1回戦敗退

▽女子

大西ななみ(敦賀高) 1回戦敗退



第72回全国高等学校剣道大会

8月7日(木)～10日(日)

広島グリーンアリーナ(広島県立総合体育館)

敦賀高校男女ともに予選リーグ敗退

本県勢の結果は次の通りです。

■男子団体

敦賀 0-1 松江東(島根)
敦賀 1-4 今治西(愛媛)
※予選リーグ 2敗 3位 予選敗退

■女子団体

敦賀 2(本数負け)-2

西京(山口)

敦賀 1-2 淑徳巣鴨(東京)
※予選リーグ 2敗 3位 予選敗退



■男子個人

▽1回戦

下寛人(藤島・3年) メー
中覇龍(鹿児島商・3年)
山口範登(丸岡・3年) ーメ
森大颯(福大大濠・3年)
▽2回戦
下 ー延メ
長谷川秀吾(足立学園・3年)

■女子個人

▽1回戦

山下心優 敦賀・2年 延メー
窪田咲姫(東海大翔洋3年・静岡)

▽2回戦



狩川怜那(敦賀・3年)―延メ

渡辺菜月(健大高崎3年・群馬)

山下 延コ―

宮部夢来(草津東3年・滋賀)

▽3回戦

山下 ード

佐藤ミリア(左沢3年・山形)

■感想

敦賀高校剣道部

男子主将 深川 幸希

広島でおこなわれたインターハイにおいて、私たちは予選リーグを戦い抜きましたが、結果は惜しくも敗退となりました。試合後に胸に残ったのは悔しさと、自分たちの力不足を痛感する思いでした。日々の練習で積み重ねてきたことは確かにありましたが、それ以上に日本一を目指すチームとの実力差をはっきりと思い知らされました。技術面はもちろん、試合運びの冷静さや一瞬の判断力、チーム全体での声掛けや流れの作り方、フィジカル面など細かいところまで相手が上回っていました。練習でできていたはずの動きが試合では思うように発揮できず、焦りからミスを重ねる場面も多くありました。これは単なる技術不足だけでなく、プレッシャーの中で力を出し切る精神面の課題でもあると強く感じました。

今回の敗戦は、自分たちに何が足

りないのかを明確に示してくれました。だからこそ、落ち込んで終わりにするのではなく、この経験を次に活かさなければならぬと考えています。これで3年生が一区切りとなり、チームを抜けて新チームになります。ですが目標は変わりません。全国で勝ち切れるチームになるため、練習の質をさらに高め、試合で通用するよう日々稽古に励んでいきます。また、ミスを恐れず、仲間同士で率直に意見を言い合える環境を整えることも必要だと感じております。今回味わった悔しさを忘れず、全国で勝ち上がれるための準備を一つずつ積み重ね、次こそは予選リーグを突破して、決勝トーナメントで勝ち上がれるようにチーム一丸となつて成長してまいります。応援ありがとうございました。

敦賀高校剣道部

女子主将 狩川 怜那

たくさんさんの応援ありがとうございました。

3年生にとって、敦賀高校として挑む最後の全国大会が終わりしました。今年は男女でインターハイの切符を掴むことができ、まず予選リーグ突破という目標に向かって日々の稽古に励んできました。

女子は玉竜旗で4回戦敗退という

結果に終わってしまい、そこからの2週間でできることを、個人としてチームとして考えながら練習しました。少しでも打突を強くする、チームワークをよくする、チームで勝てる試合をするということなど、玉竜旗で感じたことを練習や練習試合で全員で取り組みました。

迎えたインターハイでは、必ず予選リーグ突破を成し遂げるということを全員が強く思っていました。まず1試合目を大事にして、全員が気合いを入れて強気で試合をしようという気持ちで臨みました。1試合目では負けてしまいましたが、まだチャンスはある、負けていない、ここからだという気持ちで切り替えて2試合目に臨みました。全員が必死になつて勝ちに行きました。しかし、結果は2敗となり予選リーグを勝ち上がることはできませんでした。悔しい気持ちでいっぱいですが、もっとこのチームで戦いたかった、この全国の舞台でもっと試合がしたかったという思いが溢れました。

私たち3年生はインターハイが敦賀高校を背負う最後の試合でしたが、1、2年生はまだこれからだし、3年生は国スポもあるのでそこに向けて最後までやり切ろう、勝とうと全員で決めました。

国スポがこのチームで戦える本当

に最後のチャンスになります。北信越で勝ち抜き、もう一度全国の舞台で勝負します。最後の最後まで全員でやり抜きます。応援よろしくお願ひします。

第46回北信越中学校剣道大会

8月8日(金)

福井県立武道館

男子団体で松陵中が2連覇達成!

男子個人で元井選手(松陵中)が準優勝!

第46回北信越中学校剣道大会が8月8日(金)、福井市の福井県立武道館で開催され、男子団体で本県代表の松陵中学校が優勝し昨年に続き2連覇達成、女子団体で中央中学校と三方中学校がベスト8入賞。男子個人では元井汰希選手(松陵中2年)が準優勝、佐々木海緒選手(南越前中2年)が3位、縄間太智選手(松陵中3年)と熊谷薩馬選手(三方中3年)が5位、女子個人では長谷川沙津紀選手(三方中3年)が3位にそれぞれ入賞しました。

本県勢の結果は次の通りです。

■男子団体

- ▽予選リーグA
松陵中 1位 ※決勝T進出
- ▽予選リーグB
明倫中 4位 ※予選リーグ敗退
- ▽予選リーグC
三方中 4位 ※予選リーグ敗退
- ▽予選リーグD
足羽第一中 4位 ※予選リーグ敗退
- 【決勝トーナメント】
- ▽1回戦
松陵中 2-0 泉桜剣(新潟県)
- ▽準決勝
松陵中 1-0 長野日大中(長野県)
- ▽決勝
松陵中 2-1 山室中(富山県)
- ▽結果
優勝 松陵中学校 ※2連覇
- 2位 山室中学校(富山県)
- 3位 長野日大中学校(長野県)
- 3位 呉羽中学校(富山県)



■男子個人

- 2位 元井汰希(松陵中2年)
- 3位 佐々木海緒(南越前中2年)
- 5位 縄間太智(松陵中3年)
- 5位 熊谷薩馬(三方中3年)



2位の元井汰希選手
(松陵中2年)



3位の佐々木海緒選手
(南越前中2年)

■女子団体

- ▽予選リーグA
中央中 1位 ※決勝T進出
- ▽予選リーグB
三方中 2位 ※決勝T進出

▽予選リーグC

- 森田中 4位 ※予選リーグ敗退
- ▽予選リーグD
越前市剣連 3位 ※予選リーグ敗退

【決勝トーナメント】

- ▽1回戦
中央中 0-1 燕中(新潟県)
- 三方中 0-1 呉羽中(富山県)
- ▽結果
優勝 夢想塾(長野県) ※2連覇

- 2位 呉羽中学校(富山県)
- 3位 宇ノ気中学校(石川県)
- 3位 燕中学校(新潟県)
- ベスト8 中央中学校
- ベスト8 三方中学校

■女子個人

- 3位 長谷川沙津紀(三方中3年)



3位の長谷川沙津紀選手
(三方中3年)

第55回全国中学校剣道大会

8月23日(土)〜25日(月)

宮崎県都市大意郁文化センター

団体男子松陵中、女子中央中
ともに決勝T進めず

本県勢の結果は次の通りです。

■男子団体戦

- ▽予選Eリーグ
松陵中 2-1 広瀬中(宮城県)
- 松陵中 1-3 満農中(香川県)
- ※予選リーグ1勝1敗、2位、予選敗退



■女子団体戦

- ▽予選Eリーグ
中央中 0-4 東海大浦安中(千葉県)
- 中央中 1-3 上山中(沖縄県)
- ※予選リーグ2敗、3位、予選敗退

■男子個人戦

▽1回戦

元井汰希(松陵中2年) ーコ

熊谷薩馬(三方中3年) ーメ
木原結人(京都府)

三谷想(奈良県)

※ともに1回戦敗退



個人戦出場の元井選手(松陵中)



■女子個人戦

▽1回戦

長谷川沙津紀(三方中3年) コー

小林美仁(森田中3年) ー延下
三宅真央(岐阜県)

市川奏心(埼玉県)

※1回戦敗退

▽2回戦

長谷川 ーメ 馬場雪鶴(長崎県)

※2回戦敗退



個人戦出場の小林選手(森田中)

個人戦出場の熊谷選手と長谷川選手
(ともに三方中)

第46回北信越国民スポーツ大会 剣道競技

8月24日(日)

アルビス小杉総合体育センター(富山県)

成年女子、少年男女いずれも
滋賀国スポ出場できず

本県勢の結果は次の通りです。

▽成年女子

先鋒 大西ななみ(敦賀高教員)

中堅 田中更幸(北陸スズキ自販)

大将 橋本一美(株)ブランチュール

監督 大西ななみ(敦賀高教員)

福井 1ー0 富山

福井 1(本数負け)ー1 新潟

福井 0ー1 石川

福井 1ー0 長野

※2勝2敗 リーグ3位

▽結果

1位 新潟 3勝1敗

※滋賀国スポへ出場

2位 石川 2勝2敗

3位 福井 2勝2敗

4位 長野 2勝2敗

5位 富山 1勝3敗

※順位は勝数、勝者数、総本数の順

▽少年男子

先鋒 深川幸希(敦賀高)

次鋒 下寛人(藤島高)

中堅 山口範登(丸岡高)

副将 山本紀仁(丸岡高)

大将 出口慧(敦賀高)
監督 西川航平(美方高教員)

福井 0ー1 長野

福井 2ー1 新潟

福井 2ー0 石川

福井 1ー2 富山

※2勝2敗、リーグ3位

▽結果

1位 富山 2勝2敗

※滋賀国スポへ出場

2位 石川 2勝2敗

3位 福井 2勝2敗

※同率2位で決定戦をおこない負け3位

4位 長野 2勝2敗

5位 新潟 2勝2敗

※5県とも2勝2敗 順位は勝数、

勝者数、総本数の順

▽少年女子

先鋒 山下心優(敦賀高)

次鋒 岩瀬こは(敦賀高)

中堅 小堀心々音(敦賀高)

副将 塚田穂乃(敦賀高)

大将 狩川怜那(敦賀高)

監督 岩谷治彦(敦賀高教員)

福井 1ー0 新潟

福井 3ー1 長野

福井 1(代表負け)ー1 富山

福井 0ー2 石川

※2勝2敗、リーグ2位



少年男子の部3位、同女子の部2位の福井県チーム

▽結果

1位 新潟 3勝1敗

※滋賀国スポへ出場

2位 福井 2勝2敗

※同率2位で決定戦をおこない勝ち2位

3位 富山 2勝2敗

3位 石川 2勝2敗

4位 長野 1勝3敗

※順位は勝数、勝者数、総本数の順

■大会感想

国体少年男子

主将 丸岡高校 山口範登

私は去年も国スポ選手として試合に出場させていただくことができたが、自分の力不足でチームに貢献することができず、あと一步のところでブロック大会を勝ち抜くことができませんでした。今年こそはブロック大会を突破し、必ず全国へ行くという想いを胸に、日々の稽古や国体メンバーでの合同稽古、遠征に取り組んできました。

国スポは普段の大会とは違い、同じ県の中でも異なる高校の仲間とチームを組むので、雰囲気よく稽古や練習試合をするためにお互いにアドバイスし合ったり、積極的に応援や声掛けをしたりすることを大切にしました。最初こそ応援が小さかったり、声掛けをあまりできていなかったりしましたが、稽古や遠征を重ねるうちにできるようになり、雰囲気も良くなり、チームにまとまりも出るようになりました。

そして迎えた北信越国民スポーツ大会、全ての試合が終わるまで諦めないこと、この場でこのチームで試合ができることに感謝して、全力で闘うことを全員で意識しました。

試合はリーグ戦でこのチームも僅差の混戦となりましたが、結果は

惜しくも3位でした。ブロック大会を勝ち抜き全国へ行くことが目標だったので悔しい結果となりましたが、このチームで今までで一番チームとしての試合ができ、稽古をしてきたことを全て出し切れたことにはとても満足しています。

この大会を迎えるにあたってたくさんの方々に応援していただき、私たちにとって大きな力となりました。ご指導くださった先生方、家族、そして仲間への感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。

国体少年女子

主将 敦賀高校 狩川 怜那

滋賀国スポをかけた北信越国スポは2位という結果に終わってしまいました。

今回、少年女子の部は6人全員が敦賀高校のメンバーで出場させていただきました。メンバーが決まってから、敦賀高校としての大会もそうですが、北信越国スポに向けてもこのチームで一丸となって頑張ってきました。特にインターハイが終わってから国スポに向けて、このメンバーで挑戦できる最後のチャンスだと思って、そのチャンスを自分たちのものにしようと、勝ちたい思いで必死に練習してきました。玉竜旗や

インターハイでやれなかった分も北信越国スポで必ず勝って、福井県代表として本国スポに出場するんだ、まだこのメンバーで戦うんだという思いで全員がやってきました。3年生は本当に高校生としての最後がかった大会でした。やるしかないという思い一つでした。

初戦で自分が代表戦で負けてしまい、チームのみんなには申し訳なかったです。それでも練習の期間にたくさん先生の明るさや声掛けの面で指導をしていただいていたので、1試合目が終わった後みんな暗くなることはなく、まだチャンスしかないという気持ちで切り替えて次からの1試合1試合を戦いました。しかし最後の試合の石川戦で負けてしまい、本国スポ出場は果たせませんでした。

私たちは北信越国スポまでの期間、本当に様々な面でたくさんサポートをしていただき、本番を迎えることができました。福井県の多くの先生方から練習をしていただいたり、指導をしていただいたり、たくさんさんのものを与えていただきました。指導してくださった福井県の先生方、応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

第60回全国高等専門学校体育大会剣道競技

8月30日(土)～31日(日)
大牟田市総合体育館(おおむたアリーナ 福岡県)

男子団体で福井高専が過去最高の準優勝！

(一社)全国高等専門学校連合会主催の「第60回 全国高等専門学校体育大会剣道競技」が8月30日(土)～31日(日)、福岡県大牟田市の大牟田市総合体育館(おおむたアリーナ)で開催されました。7月5日(土)～6日(日)、富山県射水市の新湊アイシン軽金属スポーツセンター(新港総合体育館)で開催された「第60回北陸地

区高等専門学校体育大会剣道競技」で男子団体で優勝した福井工業高等専門学校が東海北陸地区代表として出場。個人でも同大会男子個人で優勝した伊藤彬選手と準優勝した荒川祥慶選手(ともに福井高専)が出場しました。その結果、男子団体の部で福井高専が2000年の金沢高専(現国際高専)以来の準優勝となりました。個人戦では伊藤選手、荒川選手ともに2回戦で敗退しました。結果は次の通りです。

■団体戦

▽福井工業高等専門学校

荒川祥慶選手

竹澤陽選手

伊藤彬選手

川畑悠選手

宮田慈生選手

▽1回戦

福井高専(東海北陸) 3―1

秋田高専(東北)

▽準々決勝

福井高専 3―2

熊本高専熊本キャンパス(九州沖縄)

▽準決勝

福井高専 3―2

和歌山高専(近畿)

▽決勝

福井高専 1―4

有明高専(九州沖縄)

▽結果

優勝 有明工業高等専門学校(九州沖縄)

2位 福井工業高等専門学校(東海北陸)

3位 神戸市立工業高等専門学校(近畿)

3位 和歌山工業高等専門学校(近畿)

■個人戦**▽1回戦**

荒川祥慶(福井高専) メー

坂本悠斗(明石高専)

伊藤彬(福井高専) メ、メー

奥原鉄平(宇部高専)

▽2回戦

荒川 ー延下 大崎奎太郎(有明高専)

伊藤 ー延メ 本間尊(鶴岡高専)

※ともに2回戦敗退

**第67回北信越学生剣道優勝大会・第52回北信越女子学生剣道優勝大会**

9月7日(日)
富山県総合体育センター

福井工大、男女そろって優勝！

男子は5年連続25度目、女子は2年連続6度目の栄冠！

北信越学生剣道連盟主催の「第67回北信越学生剣道優勝大会・第52回北信越女子学生剣道優勝大会」が9月7日(日)、富山市の富山県総合体育センターで開催され、福井工業大学が男女そろって優勝、男子は5年連続25度目、女子は2年連続6度目の制覇を達成しました。男子は11月16日(日)、Asueアリーナ大阪(大阪府中央体育館)で開催される「第73回全日本学生剣道優勝大会」に、女子は11月9日(日)、愛知県春日井市の春日井市総合体育館で開催される「第44回全日本学生剣道優勝大会」への出場権を獲得しました。

本県勢の結果は次の通りです。

■第67回北信越学生剣道優勝大会**▽予選リーグ**

福井工業大 5―0 金沢星陵大

福井工業大 5―1 金沢工業大

福井工業大 6―0 福井県立大

※福井工業大 3勝0敗 1位 決勝リーグへ



準優勝
富山大学
3位
新潟大学

優勝
福井工業大学(奥田大也、坂元蒼、高多英章、大倉匠人、笠嶋洸瑠、小山颯太、頃安真翔、田原陽、豊田一生)

▽結果

福井工業大 6-0 新潟大
福井工業大 5-1 富山大

▽決勝リーグ

福井大 0-7 富山大
福井大 0-6 金沢学院大
※福井大 0勝2敗 予選リーグ敗退

福井県立大 0-6 福井工業大
福井県立大 0-7 金沢星稜大
福井県立大 2-5 金沢工業大
※福井県立大 0勝3敗 予選リーグ敗退



準優勝
新潟大学
3位
新潟医療大学
※福井大学は不出場

優勝
福井工業大学(廣門茜、石井心、小山結衣、谷口美佳、伊藤智尋、小本芽依、川上友梨子)

▽結果

福井工業大 2-1 新潟医療大
福井工業大 3-1 新潟大

▽決勝リーグ

福井県立大 0-5 新潟大
福井県立大 0-5 金沢星稜大
※福井県立大 0勝2敗 予選リーグ敗退

▽予選リーグ
福井工業大 4-0 金沢学院大
福井工業大 2-0 金沢大
※福井工業大 2勝0敗 決勝リーグへ

■第52回北信越女子学生剣道優勝大会

第71回全日本東西対抗剣道大会

9月7日(日)

石川総合スポーツセンター

大西選手、見事な引きメンで勝利

全剣連主催の「第71回全日本東西対抗剣道大会」が9月7日(日)、石川県金沢市の石川総合スポーツセンターで開催され、本県からは女子の部で大西ななみ選手(六段、敦賀高校教員)が東軍7将で出場。お相手の西軍7将は熊本県の西尾明日菜選手(六段)で、大西選手は鏑競り合いからの見事な引きメンを取り、1本勝ちを納めました。試合結果は東軍2勝、西軍5勝で西軍の勝利でした。男子の部では本年3月まで丸岡高校の教員を務めていた長崎県の林田匡平選手が西軍の先鋒で出場。東軍先鋒は茨城県の山下拓真選手で、先にメン(小手面)を先取されるも直ぐにメン(跳び込み面)を取り返し、その後メン(小手面)を取り勝ちました。両者の攻め合い、技前が素晴らしい試合でした。※西川専務理事より報告



第20回全日本都道府県対抗少年優勝大会

9月14日(日)

おおきにアリーナ舞洲(大阪市)

中学生チームが3年連続ベスト8入賞!

9月14日(日)、大阪市のおおきにアリーナ舞洲で開催されていた「第20回全日本都道府県対抗少年剣道大会」中学生の部で、福井県チームはベスト8に入賞しました。ベスト8入賞は3年連続。小学生チームは予選リーグ1勝1敗の2位で予選敗退でした。

■中学生の部

▽予選リーグ

福井 3-1 徳島
福井 1-0 大阪B
※2勝 1位 決勝I進出

【決勝トーナメント】

▽1回戦
福井 2-0 長野

▽準々決勝

福井 0-3 和歌山

▽成績

優勝 愛知
2位 和歌山
3位 岐阜
3位 熊本



■小学生の部

【予選リーグ】

福井 2-1 奈良

福井 1-2 山梨

※1勝1敗 2位 予選リーグ敗退

▽成績

優勝 大阪A

2位 岐阜

3位 長崎

3位 静岡

第79回国民スポーツ大会 剣道競技

9月28日(日)～10月1日(水)

湖南市総合体育館(滋賀県)

成年男子 東京都に0-2で惜敗

第79回国民スポーツ大会剣道競技会が9月28日(日)～10月1日(水)まで、滋賀県湖南市の湖南市総合体育館で開催され、本県からは成年男子のみ出場しました。成年男子1回戦は30日(火)行われ、本県チームは東京都と対戦、善戦ながらも0対2で惜敗しました。

■成年男子

先鋒 奥村龍也(参段、大阪体育大学4年)

次鋒 渡邊龍二郎(六段、福井工業大学職員)

中堅 前田浩由(七段、福井県警察)

副将 澤田泰治(七段、中央中学校)

教員

大将 小辻淳二(八段、福井県立武道館職員)

▽1回戦

福井 東京

先鋒 奥村龍也 ーメ

次鋒 渡邊龍二郎 ーコ

中堅 前田浩由 引き分け

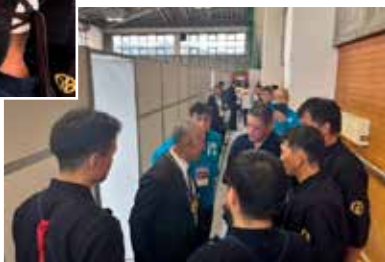
副将 澤田泰治 引き分け

大将 小辻淳二 ドーメ

権瓶功泰(八段、警視庁)

岡本和明(八段、警視庁)

※0-2で負け、1回戦敗退



■滋賀国民スポーツ大会を終えて

強化委員長(総監督) 堀江 範雄

昨年、初戦で開催県の佐賀県に5対0で完敗。あの悔しさ、辛さから1年、今年こそは絶対勝つぞと1月から毎週木曜日強化稽古会を実施しました。そして9月中旬に対戦相手が東京に決まり、「えっ!また東京?」と思いましたが、福井国体(2018年)、栃木国体(2022年)と対戦し敗戦していることから、今回こそリベンジしてやると強い気持ちを持ちました。

東京の選手は全員剣道界では世界レベルの超スーパースターばかりのオール警視庁チーム、腹を括りました。本県チームは大会前までに滋賀県、広島県、長野県の錬成会に参加して強化しました。今年の成年男子は「次の者に繋ぐ、各ポジションでの役割(任務)を果たす」をテーマに戦術が決まり、その結果チーム力が増し遠征先の練習試合でも大将戦で試合が決まるようになりました。

本県アドバイザーの佐藤成明先生からいつも指摘されていた「足を使え(動きを止めない)」「相手の竹刀に触れる(相手の動向を竹刀から感じる)」「中心を意識する(手元を上げない)」こと、さらに故高橋俊昭先生からの「床を踏んでなんぼ(打ち込め)」「攻撃は最大の防御」を基本に、何度

も指示して練習をしました。

大会当日、佐藤先生から選手を鼓舞して頂き、また私からはうちのチームカラー「試合の流れを読め、引き分けて良い、後ろへ繋げ、大将勝負や」と具体的に指示を出して試合に望みました。

先鋒の奥村龍也選手(大阪体育大学)は、先に行われました大学の関西大会で団体戦優勝し、調子は良く、勝利の流れを福井に持ってくることを期待しました。試合開始早々の立ち上がり、不用意にコテ技を出した訳ではありませんが前に詰めたところ、相手の大平選手が上からメンに飛び込み1本取られました。その後取り返しに技を出しますが、決定打がなく時間切れとなりました。

次鋒の渡邊龍二郎選手(福井工業大学職員)は中心を外さない剣道で得意の出頭メンを期待しました。相手は国士舘大学後輩の宮本選手であり、試合開始早々宮本選手がコテにきたところ渡邊選手は応じてメンを打ちましたが、勢いのある宮本選手のコテに旗が上がりました。残念でした。この後攻めますが相手は守りに入り時間切れとなりました。

中堅の前田浩由選手(福井県警察)はポイントゲッターで、遠征先の練習試合では勝利を収め今回も何かをしてくれると期待しました。前田選

手は引き技等を果敢に繰り出しますが、相手の遅野井選手は無理をせず上手く前田選手の打突を捌いて時間切れとなりました。

副将の澤田泰治選手(中央中学校教員)は絶対勝利が必要な場面です。戦術どおり足を使い、相手の竹刀に触れながら権瓶選手に立ち向かいました。体格では権瓶選手に劣らず勝ってましたし、これならいけると応援席からも「打て!」「打て!」との声援がありましたが、無情にも時間切れで引き分けとなりました。あと1本が出なかったのが残念でした。これで本県の負けが決まりました。

大将の小辻淳二選手(福井県立武道館職員)ですが、私と福井国体の強化で苦楽をともにした戦友です。八段も合格して今回私が絶対的な信頼をおいていた選手です。ですから他の選手には「何とか後ろに繋げ!」と指示しました。東京の大將は福井国体で対戦した岡本選手、リベンジで気合が入っていることは、アップの時から感じてました。顔色は青ざめ、基本打ちの順番は間違えるは、えっ!大丈夫か?・・・そこで応援の鈴木秀典先生に「大丈夫かな?」と話したところ、「5位入賞した鹿児島国体でもあの状態でしたから大丈夫です!」と言われ、あれがいつも通りなんだと変に安心しました。結果

は攻めの鋭さと切れの良さで岡本選手にメンを先行されましたが、その後返しドウが基本技の様に決まり、その後は時間切れで引き分けとなりました。堂々とした立派な試合内容だったと思いました。やはり期待通りの試合ぶりで、戦術は間違っていないと感じました。また、東京の選手の個々の能力には勝てませんが、チーム力の戦術では勝つことができると感じました。

今回の滋賀国スポ本県の成年男子は今年も初戦敗退、優勝は地元滋賀県、準優勝が東京で幕を閉じました。勝つことは並大抵な事ではありません。小さい県が勝つには、皆が一致団結して地道に稽古を継続することが必要だと思いました。その点を思うと1月から強化指定選手として稽古に参加してくれた皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。今後ともご協力をお願いしたいと思います。来年は青森県で開催されます。来年こそは絶対に勝つために1回、1回の稽古に妥協しない覚悟です。来年こそは選手を決意している貴方!頑張ってください。やりましょう。私もやります!

大将 小辻 淳二

今年の国スポは、9月30日から3日間、「わたSHIGA輝く国スポ」

のスローガンのもと、滋賀県の湖南市総合体育館で開催されました。福井県成年男子は、先鋒奥村龍也(大阪体育大学)、次鋒渡邊龍二郎(福井工業大学職員)、中堅前田浩由(福井県警察)、副将澤田泰治(中央中学校教員)、大将小辻淳二(福井県立武道館職員)の布陣で臨みました。毎週木曜日の強化稽古に加え、滋賀遠征、広島遠征、長野遠征と強化試合を重ね、チーム力が確実に上がり続けているのを感じました。強化試合のほとんどが大将戦で決まるというものでした。堀江総監督からも試合の流れを大切にすること、大将まで勝負を持つていくことを常々話されました。大会前の木曜日の強化稽古の時「流れはあるけれども、それぞれいろんな思いを持って戦ってください」と話しました。

今年の国スポは、福井県のアドバイザーであった高橋俊昭先生が亡くなられて初めての大会であり、必ず勝つという気持ちを持って準備をしていきました。対戦相手は東京、オール警視庁のメンバーです。福井国体で対戦してから3度目の対戦となります。しかも大將は福井国体で対戦した岡本和明選手。こんな巡り合わせがあるのかと思いました。組み合わせが決まってからずっとわくわく感が止まりませんでした。今回

の大会は、私の剣道人生において忘れられない大会になると心に決めて臨みました。

大会2日目成年男子第1試合東京戦。試合前に高橋先生ならこう言うだろうなと思う、みんなに「負けたら、琵琶湖に〇〇〇ぞー」と檄を飛ばしました。高橋先生ほどの迫力が足りず、ややウケでした。茨城県から駆けつけてくださった佐藤成明先生が見守る中、試合が始まりました。

先鋒奥村対大平選手。初太刀で積極的に面小手をしかけたところに面を合わされました。目にも止まらぬ技の応酬は見応えがありました。次鋒渡邊対宮本選手。初太刀で小手に對して返して面を打ちましたが、その前の小手に旗が上がりました。国士館大出身者同士の戦いは、重厚さを感じられました。中堅前田対遅野井選手(福井国体優勝メンバー)。一瞬の気の緩みも感じさせない試合でした。スピードを生かした攻撃と引き面で攻め立てましたが引き分け。副将澤田対権瓶選手。1勝を返し大將に繋げるべく、強気で押し気味に試合を進めました。権瓶選手がバランスを崩す場面が何度もありました。引き分け。ここで団体としての勝敗は着いてしまいました。大將の私は、攻め入ろうとした端を面に合わせてしまいました。対策は十分に

してきたため、その後も慌てることなく試合を進めました。そして中盤に出鼻面を引き出して返し胴を取り返しました。

チームも私も勝つことができませんでした。高橋先生はどう思ったのだろうか。天国から「まだまだやなあ」と笑っている姿が目に見えます。そしてその後に必ず「これからが大事なんや。この経験が次に生かしていくこと。それが大事なんや!」と励ましてくれている姿も。次は東京に勝って、高橋先生に報告したいと思います。

今回は残念ながら1回戦で負けてしまいました。紙一重の勝負でした。素晴らしいメンバーで素晴らしい試合ができたのも、毎週木曜日に県立武道館に集まり、堀江先生のもとでチーム福井が一丸となって練習を積み重ねてきた、その切磋琢磨の賜物だと思います。福井県剣道連盟には大変お世話になりました。また来年に向けてよろしく願います。強化選手の皆さん、本当にありがとうございました。

副将 澤田 泰治

3年前に強化指定選手に選んでいただき、今年初めて本國スポのメンバーとして滋賀国スポに出場させていただきました。9月中旬に組み合

わせが発表され、東京との対戦で、相手は警視庁の権瓶選手であることを知り、体が震えたことを今でも覚えています。権瓶選手は同世代の第一人者であり、私にとっては雲の上の存在でした。その日から、過去の自分の勝手な思い込みとの葛藤が続きました。そんなとき、私の支えとなったのは、生徒たちの存在です。

目標をもって一生懸命に努力する生徒たちの姿に励まされ、いつも生徒に伝えている言葉を自分にも問いかけ、相手を上に見るのではなく、対等に、そして自然体で戦おうと、自分なりの答えを見つけて当日の試合に挑みました。当日は朝から緊張していました。頭の中は冷静でいることができました。そして中堅の試合が終わったとき、不思議と緊張がスツと治まり、落ち着いて試合に入ることができました。試合は大將につなぐための1本を取ることができずに引き分け、チームの敗退が決まってしまいました。試合後、チームの勝利に貢献できなかった悔しさが残りました。それとともに、この大舞台でどんな相手にも対等に戦うことができたことに誇らしさを感じました。自分の中に「次こそは」という強い思いが芽生えました。

実力も経験もない私を最後まで我慢強くご指導して下さいました諸先生

方、強化メンバーの一員として快く仲間に入れて下さった選手の皆様には、心から感謝しております。この経験を自分の成長に生かし、チーム福井に貢献できる選手になれるように精進したいと思います。本当にありがとうございました。

第60回全日本居合道大会

10月11日(土)
東京武道館

団体総合順位は22位(過去最高タイ)

全日本剣道連盟主催の「第60回全日本居合道大会」が10月11日(土)、東京都の東京武道館で開催されました。本県からは七段の部に大嶋雅典選手(越前地区)、六段の部に長谷川翔平選手(福井地区)、五段の部に齋藤聖也選手(福井地区)の3選手が出場しました。

結果は以下の通りです。団体総合順位は22位で、過去最高タイでした。

■七段の部

▽2回戦

大嶋雅典(越前地区) 0-3

池沢友孝(千葉県)

※2回戦敗退

■六段の部

▽1回戦

長谷川翔平(福井地区) 2-1

野田典幸(鹿児島県)



※1回戦敗退
団体総合順位
 福井県 22位

松田武尊(福岡県)

▽1回戦 齋藤聖也(福井地区) 1-2

▽2回戦 長谷川 3-0 黒澤直樹(秋田県)

▽3回戦 長谷川 1-2 亀井美和(高知県)

※3回戦敗退

▽5段の部

「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)剣道交流大会」が10月18日(土)〜21日(火)岐阜県関市のわかさ・プラザアテナ工業アリーナ(関市総合体育館)で開催され、本県からは4月の県予選会で選出された谷口竜哉選手(敦賀地区)、上山亮二選手(鯖江地区)、的矢俊昭選手(南越前地区)、



第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)剣道交流大会
 10月18日(土)〜21日(火)
 わかさ・プラザアテナ工業アリーナ
 (関市総合体育館)
福井県チーム、予選リーグ突破ならず

上嶋啓芳選手(敦賀地区)と、監督兼任で奥井俊雄選手(敦賀地区)の5選手が福井県チームとして出場。予選は5チームによるリンク方式のリーグ戦で、大阪市と山形県と対戦。善戦ながらも2敗し予選5位、決勝トーナメントには進出できませんでした。(大阪市との対戦が第2試合場の第1試合だったので、WEBの剣道総合サイトJETS KENDOで谷口選手のドウが、本大会の最初の1本“として紹介されました”)

試合結果は以下の通りです。

▽予選リーグ 5ブロック

福井県 大阪市

谷口 ドー 松本

上山 ド、ド 遠藤

的矢 メー 藤井

上嶋 ーメ、メ 山下

奥井 引き分け 山本

※2-2で本数負け

福井県 山形県

谷口 ーメ 落合

上山 ーメ 星

的矢 引き分け 細矢

上嶋 ーメ、コ 中川

奥井 メ、ドー 三浦

※1-3で負け

【予選リーグの結果】

1位 福岡県 2勝

2位 浜松市 1勝1敗

2位 山形県 1勝1敗
 4位 大阪市 1勝1敗
 5位 福井県 2敗
 ※2位〜4位は勝者数により決定

【大会結果】

優勝 岐阜県A

2位 岐阜県B

3位 茨城県

3位 岐阜県C



第24回 宮本武蔵顕彰女子剣道大会(お通杯)

10月19日(日)

宮本武蔵顕彰武蔵武道館(岡山県美作市)

福井県Aは決勝T進出、福井県Bは予選リーグ敗退

「第24回 宮本武蔵顕彰女子剣道大会(お通杯)」が10月19日(日)、岡山県美作市の宮本武蔵顕彰武蔵武道館で開催され、本県からは「選手3名の合計年齢101歳以上の部」に福井県Aと福井県Bの2チームが出場しました。福井県Aは予選リーグを突破、決勝トーナメントに進出しましたが、1回戦で強豪の弥生会A(兵庫県、ベスト8)に敗れました。同Bは予選リーグ2敗で3位、予選リーグ敗退しました。

結果は次の通りです。

■福井県A

先鋒 石橋沙希(坂井地区)

中堅 前川早百合(福井地区)

大将 松岡由佳(福井地区)

▽予選リーグ

福井県A 3-0

寄島武道館B(岡山県)

福井県A 1-1 紫式部(滋賀県)

※予選リーグ 1勝1分 1位 決勝T進出

▽決勝トーナメント

福井県A 0-3 弥生会A(兵庫県)

※1回戦敗退

■福井県B

先鋒 松村美帆(福井地区)

中堅 丸山志織(越前地区)

大将 安原真紀(坂井地区)

▽予選Mリーグ

福井県B 0-3 兵女会(兵庫県)

福井県B 0-1 香川A(香川県)

※予選リーグ 2敗 3位 予選リーグ敗退



第41回全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会

10月19日(日)

西原商会アリーナ(鹿児島県阿久保市)

【個人戦】中学生男子 熊谷薩馬選手、小学生女子 山田逢生選手がベスト8入賞

全日本剣道道場連盟主催の「第41回全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会」が10月19日(日)、鹿児島県鹿児島市の西原商会アリーナ(鹿児島県阿久保市)で開催されました。本県からは道場対抗大会(団体戦)に木田剣道スポーツ少年団(先鋒・玄津、次鋒・寺前、中堅・徳橋、副将・宮田、大将・中村)が出場、2回戦で鹿児島県代表の伊集院剣心館と対戦、2対2ながら取得本数差で惜敗しました。

選手権大会(個人戦)には小学生男子の部に山田桃璃選手(鯖江志士樹館道場)、同女子に山田逢生選手(福井今立道場)、中学生男子の部に熊谷薩馬選手(福井養正館)、同女子に岩谷明依選手(福井養正館)が出場し、熊谷選手と山田逢生選手がベスト8に入賞しました。

結果は次の通りです。

■道場対抗試合(団体戦)

▽2回戦

木田剣道スポーツ少年団 2本

数負け―2

伊集院剣心館(鹿児島県)



道場対抗大会に福井県代表として出場した木田剣道スポーツ少年団

■選手権大会(個人戦)

▽小学生男子の部

▽1回戦

山田桃璃(鯖江志士樹館道場) 1-メ、メ
廣田直輝(天明剣道クラブ・熊本県)

選手権大会 小学生男子の部出場の山田桃璃選手(鯖江志士樹館道場)

【小学生女子の部】

▽1回戦

山田逢生(福井今立道場) メー

吉原佑奈(清流館) 佐賀県

▽2回戦

山田 メー

砂田依真(志悠館) 東京都

▽3回戦

山田 判定勝ち

小葉叶和(四誠館) 埼玉県

▽4回戦

山田 ーメ

花屋心海(昇龍館一福道場) 岡山県

※ベスト8入賞



選手権大会 小学生女子の部に出場しベスト8入賞の
山田逢生選手(福井今立道場)

【中学生男子の部】

▽1回戦

熊谷薩馬(福井養正館) 判定勝ち

相馬虎琉(一心院道場一心剣) 茨城県

▽2回戦

熊谷 判定勝ち

岡田将(一好会) 新潟県

▽3回戦

熊谷 ドー

田島朋和(真崎少年剣道会) 長崎県

▽4回戦

熊谷 ーメ

藤井怜都(習志野剣志会) 千葉県

※ベスト8入賞

【中学生女子の部】

▽1回戦

岩谷明依(福井養正館) ーメ

富島花音(上山中学校) 沖縄県



選手権大会 中学生男子の部に出場しベスト8入賞の熊谷薩馬選手と同女子の部出場の岩谷明依選手(ともに福井養正館)

第73回全日本剣道選手権大会・
第64回全日本女子剣道選手権大会

11月3日(月・祝)

日本武道館

富田選手は1回戦、大西選手
は2回戦で惜敗

全日本剣道連盟主催の「第73回全日本剣道選手権大会」・「第64回全日本女子剣道選手権大会」が11月3日(月・祝)、東京都の日本武道館で全国各都道府県代表の男女それぞれ64人ずつが出場し、トーナメント戦でおこなわれました。本県からは10年振り2回目出場の富田成慈選手(刑務官、六段)と8年連続11回目出場の大西ななみ選手(敦賀高校教員、六段)が出場しました。富田選手は1回戦で埼玉県代表の精松慎治選手(六段)にコテとメンを取り合った後、延長でメンを取られ敗れました。大西選手は1回戦で愛知県代表の安藤萌花選手(四段)にメンを取り1本勝ち、2回戦で千葉県代表の境桃選手(五段)に延長でコテを取られ敗れました。本年3月まで丸岡高校教員をされていた林田匡平選手が長崎県代表で出場、3位に入賞しました。

■富田選手の結果

▽1回戦

富田成慈 コーメ、延メ

精松慎治(埼玉県)

▽大会結果

優勝 星子啓太(東京都)

2位 國友鍊太郎(福岡県)

3位 村上哲彦(愛媛県)

3位 林田匡平(長崎県)

■大西選手の結果

▽1回戦

大西ななみ メー

安藤萌花(愛知県)

▽2回戦

大西 ー延コ 境桃花(千葉県)

▽大会結果

優勝 高橋萌子(神奈川県)

2位 大嶋友莉亜(大阪府)

3位 柿元冴月(福岡県)

3位 妹尾舞香(福岡県)

■全日本選手権大会講評

県剣道強化選考部委員 鈴木秀典

11月3日(月・祝)、日本武道館において開催された全日本剣道選手権大会に、堀江常務理事とともに本県選手の激励に赴きました。本県からは男子富田成慈選手(福井刑務所刑務官)、女子大西ななみ選手(敦賀高校教員)が出場しました。富田選手は平成27年度第63回大会以来、10年ぶりとなる2回目の出場であり、大西選手はプログラムの中でもひと際目を引く11回目の出場ということで、

改めて福井県のレジェンドであることを再認識しました。(今度お会いしたら胴にサインをいただこう！)

言わずもがな両選手とも敦賀高校の関係者(教員、OB)であり、岩谷先生をはじめ敦賀高校関係者やご家族、職場の方々など大応援団が駆けつけ、熱い声援を送っていました。(それを見た堀江先生がボソツと言「俺が出たときは応援少なかったなあ・・・」としみじみおっしゃっていたのが印象的、鈴木の時もそうでしたが(涙)。

前回大会から男女同時開催ということで観客も多く、二階席はほぼ満席。4試合場で熱戦が繰り広げられているため、どの試合を見ているか分からず、堀江先生に「とりあえず手分けして2試合場ずつ観ますか！」と打診したところ「いやいや剣道家として、遠山の目付が重要」とのご指導を受け、4試合場を同時に観るスキルを身につけました。

さて、富田選手の1回戦が始まる。相手は埼玉県代表の精松選手(埼玉県警)、警察大会でも活躍し、本格派上段の有名選手である。しかし、私のイメージでは富田選手は上段に対してめっぽう強い印象。期待が膨らみいざ試合が始まる。「始め」と同時に勢いよく間合いを詰め、右コテを放ち、捉えた！と思ったが、相手も

流石！それを抜いてメン、旗3本となり先制された。それでも富田選手はその後臆することなく、いつも通り下半身を充実させ、剣先を上手く使いながら相手を攻め立てる。それが効いているのか、流石の精松選手もたじろぎ、居つく場面が多くなっていく。徐々に惜しい右コテ、左ゴテを捉えていき、最後は相手の足が完全に止まったところへ、強烈なコテが炸裂し、タイに持ち込んだ。35歳を迎え体力的には落ち目にあると思うが、あの状況で猛攻を仕掛けられるということは、この大会にかけ強い想いと相当な稽古量を積んできたことが容易に想像できる。富田選手もまたレジェンド！さて、勝負となり、程なく5分が経過し、延長戦に入る。これまでの試合の流れから完全に富田選手に分がある印象。以降どうやって相手を攻め立てるか期待をしていた矢先「延長始め！」と同時に両者メンに跳ぶ！相メンの形となり、やや相手の方が速かったか？相手側に旗3本が上がり、勝負あり。もう少し慎重にいけばなあ！と感じる部分もあったがその豪快さはやはり富田選手らしい。紙一重の勝負であった。

続いて、大西選手。相手は愛知県警察で活躍する安藤選手、本年度の中部管区警察大会で個人準優勝し、

勢いのある選手だ。その安藤選手に對し、大西選手は序盤から足を使つてよく攻め、相手の手元を浮かす。まさに攻撃は最大の防御と言わんばかりに上へ下へと惜しい技を繰り出す。ただ決して強引ではなく、相手の動きをよく観察し、虎視眈々と狙っている様子。そうこうしているうちに開始から2分、鏑迫り合いから別れようとする絶妙なタイミングで引きメンを決める。今日は前によく攻めているせいか得意の引き技をあまり出してない印象だったが、ここで出してきたか！という印象。

試合の組み立て方を見習いたいものである！その後も勢い止まらず、体当たりで相手を場外に押し出すなど完全に主導権を握り、1本勝ちを収めた。

2回戦は千葉県警の境選手。お互い運動量は豊富でギリギリの戦いの中、一進一退の攻防が続く。ただ相手選手は大西選手のことをよく研究している感があり、引き技は警戒しているようでは打たせない。決め手がなく5分間が終わり、延長戦も2回、3回と重ね、ヒリヒリするような展開が続く。大西選手も飛び込みメンや惜しい引きドウもあつたが決め切れない。死闘が続く延長6回目、大西選手の足が止まったところに相手の払いゴテが決まり、激戦の

終止符が打たれた。試合後悔しそうな表情を浮かべていたが両者の健闘を称えたいと思う。

今回、私自身9年ぶりに現地で観戦させていただきました。同じ会場とは言え、全国警察大会の殺伐とした雰囲気とは違い独特の緊張感があり、改めて剣道界の最高峰の大会であることを肌で感じる事ができました。本県の強化に携わる者として、未来ある若い選手がこの檜舞台で活躍することを切に願ひ、澄みきった東京の空の下、日本武道館を後にしました。

第44回全日本女子学生剣道優勝大会
11月8日(土)～9日(日)

春日井市総合体育館(愛知県)

福井工大、2回戦で関東学院
大に1対3で敗退

剣道の大学女子団体日本一を決める「第44回全日本女子学生剣道優勝大会」が11月8日(土)～9日(日)、愛知県春日井市の春日井市総合体育館で開催され、9月の北信越地区大会で優勝した福井工業大学が地区代表で出場。2回戦地区優勝につき1回戦はシードで関東地区代表の関東学院大学と対戦、1勝3敗で惜敗、残念ながら2回戦で敗退しました。

優勝は日本体育大学、準優勝は鹿



屋体育大学、3位は中央大学と園田学園大学。

▽2回戦

福井工業大学 関東学院大学
 先鋒 川上 一メ、メ 東海林
 次鋒 伊藤 一メ、コ 久富
 中堅 石井 引き分け 兼田
 副将 小本 メー 又吉
 大将 小山 一メ 田中
 ※1勝3敗で2回戦敗退

第73回全日本学生剣道優勝大会

11月16日(日)

A Sueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

福井工大、1回戦で東海大に1対4で敗退

学生剣道の男子団体日本一を争う全日本学生剣道連盟など主催の「第73回全日本学生剣道優勝大会」が11月16日(日)、大阪市のA Sueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)で、全国8ブロックから代表64校が出場して行われました。本県からは北信越学生剣道優勝大会を制した福井工業大学が出場、1回戦で関東代表の東海大学と対戦、残念ながら1対4で敗れました。

結果は次の通りです。

▽1回戦

福井工業大学 東海大学
 先鋒 小山颯太 引き分け 稲岡辰将
 次鋒 豊田一生 一メ 楠本大智
 五将 頃安真翔 一ド 弘田陸人
 中堅 田原陽 一ド 前田大翔
 三将 笠嶋洸瑠 一メ 森川天斗
 副将 大倉匠人 一メ 遠藤優生
 大将 奥田大也 ツ、メ一コ 鈴木智大
 ※1勝4敗で1回戦敗退



第63回北信越学生剣道新人大会・第47回北信越女子学生剣道新人大会

11月23日(日)

新潟大学五十嵐キャンパス第1体育館

男女団体戦、女子個人戦を福井工業大学が制覇!

北信越学生剣道連盟は11月23日(日)、新潟県新潟市の新潟大学五十嵐キャンパス第1体育館で「第63回北信越学生剣道新人大会・第47回北信越女子学生剣道新人大会」を開催し、本県からは福井工業大学が男子・女子団体戦と男子・女子個人戦に出場、福井工業大学と福井県立大学は男子のみ個人戦に出場しました。福井工業大学は男女団体戦と女子個人

戦を制しました。

試合結果は次の通りです。

男子団体

優勝 福井工業大A
 2位 新潟大学A
 3位 福井工業大学B
 3位 新潟大学C



3位の福井工業大学B



優勝の福井工業大A

■女子団体

- 優勝 福井工業大学
2位 金沢大学
3位 新潟大学
3位 新潟医療福祉大学



優勝の福井工業大学

■男子個人

- 優勝 大原史也(金沢大)
2位 貞兼琉己(福井工大)
3位 頃安真翔(福井工大)
3位 林慶樹(金沢大)



男子個人入賞者

■女子個人

- 優勝 川上友梨子(福井工大)
2位 寺井碧泉(新潟大)
3位 菅原陽菜(新医大)
3位 小本芽依(福井工大)



女子個人入賞者

令和7年度第9回北陸実業団剣道大会

11月30日(日)
石川県立武道館

団体の部で武蔵屋チームが3位、個人戦では北林選手(福井県庁)が同じく3位に入賞

「第9回北陸実業団剣道大会」が11月30日(日)、石川県金沢市の石川県立武道館で開催され、本県からは団体戦に3チーム、個人戦男子選手権の部に6人の選手が参加しました。

大会の冒頭に、打太刀 坂本裕一郎氏(福井県庁)、仕太刀 伊川勇生氏(社南児童クラブ)による日本剣道形の演武が行われ、その後、団体戦、個人

選手権の熱戦が繰り広げられました。

団体戦の部で予選リーグを突破した武蔵屋チーム(大森豪選手、畑祐一郎選手、相模宏二郎選手)は、準々決勝で北総クラブB(富山県)に勝利し、迎えた準決勝では北陸電力Aと代表戦となる熱戦を展開しましたが、惜しくも敗れ3位となりました。

個人戦男子選手権の部では、北林直樹選手(福井県庁)が3位入賞、畑祐一郎選手(武蔵屋)、相模宏二郎選手(武蔵屋)、高橋泰平選手(光武会)が5位入賞の成績を挙げました。この大会は来年度から北陸3県が持ち回りで開催することになり、開催順は富山県、石川県、福井県の順で、本県開催は令和10年度となります。



大会冒頭で日本剣道形を演武する打太刀:坂本裕一郎氏(右、福井県庁)、仕太刀:伊川勇生氏(左、社南児童クラブ)



個人戦男子選手権の部3位入賞の北林直樹選手(左端、福井県庁)



団体戦3位入賞の武蔵屋チーム

大会・予選会・稽古会等

令和7年度「25県民スポーツ祭 剣道競技(市町対抗の部)」

8月3日(日)

福井県立武道館

試合結果は次の通りです。

▽成年男子団体の部

- 優勝 福井市 A
2位 坂井市 A
3位 越前市 B
3位 越前市 A



優勝の福井市 A

▽成年女子団体の部

- 優勝 敦賀市
2位 福井市 C
3位 福井市 B
3位 福井市 A

▽壮年男子団体の部

- 優勝 福井市 A
2位 坂井市 A
3位 鯖江市 A
3位 越前市 A



優勝の敦賀市



優勝の福井市 A

▽壮年女子団体の部

- 優勝 越前市
2位 坂井市
3位 福井市 A
3位 福井市 C



優勝の越前市

▽熟年男子①団体の部

- 優勝 敦賀市
2位 福井市 B
3位 福井市 A
3位 高浜町



優勝の敦賀市

▽熟年男子②団体の部

- 優勝 若狭町
2位 越前市
3位 鯖江市



優勝の若狭町

第54回福井県少年少女剣道錬成武生大会
8月17日(日)

越前市アイシンスポーツアリーナ
団体戦、福井今立道場が3連覇

大会結果は次の通りです。

※参加38チーム、参加児童数268人

■団体試合

- 優勝 福井今立道場 ※3連覇
準優勝 木田剣道スポーツ少年団
3位 福井三方道場
3位 福井養正館



準優勝の木田剣道スポーツ少年団



3連覇の福井今立道場



3位の福井養正館



3位の福井三方道場

▽3年生以下男子B
優勝 川村明(金井学園ジュニア
剣道教室)
2位 中村優太(木田剣道スポーツ
少年団)
3位 酒井進士朗(五常館)
3位 奥山誠汰(武生南剣道スポー
ツ少年団)



個人試合
▽3年生以下男子A
優勝 丸山陽大(福井今立道場)
2位 大浦岳(三国少年剣道教室)
3位 中川健生(金井学園ジュニ
ア剣道教室)
3位 白崎奏心(新風館)



▽4年生以下男子
優勝 朝日悠登(木田剣道スポー
ツ少年団)
2位 笈田大成(新風館)
3位 引野湊斗(みのり剣道スポー
ツ少年団)
3位 長山隼也(松岡少年剣道教室)



▽5年生男子

優勝 山田桃璃(武生南剣道スポーツ少年団)

2位 角潤之介(新風館)

3位 青山新(越前少年剣道クラブ)

3位 川縁叡人(みのり剣道スポーツ少年団)



▽6年生男子

優勝 大下知憲(福井三方道場)

2位 柴田雅己(越前少年剣道クラブ)

3位 竹田朝陽(鯖江剣道団)

3位 谷口統威(五常館)



▽3年生以下女子

優勝 永田桃子(木田剣道スポーツ少年団)

2位 高木心(木田剣道スポーツ少年団)

3位 萬道羽果(三国少年剣道教室)

3位 竹澤愛玲奈(森田少年剣道教室)



▽4年生女子

優勝 本村優奈(木田剣道スポーツ少年団)

2位 前川珠希(森田少年剣道教室)

3位 朝倉菜月(五常館)

3位 田中結萌(越前少年剣道クラブ)



▽5年生女子

優勝 橋本阜(武生南剣道スポーツ少年団)

2位 原知沙(森田少年剣道教室)

3位 新渡戸佳奈(丸岡剣道少年教室)

3位 出村奏羽(鯖江剣道団)



▽6年生女子

優勝 木村優花(神明スポーツ少年団剣道部)

2位 笠島夕樹葉(神明スポーツ少年団剣道部)

3位 引野陽彩(みのり剣道スポーツ少年団)

3位 千田望乃佳(福井三方道場)





■一般男子の部 ▽1回戦

福井県剣道連盟主催(鯖江地区剣道連盟・丹生地区剣道連盟主管)の「第73回福井県剣道大会(一般男女の部)」は9月21日(日)、福井県立武道館で開催しました。各地区剣道連盟、団体から男子の部には13チーム、女子の部には7チームが出場し、熱戦を繰り広げました。男子は福井県警察、女子は福井工業大学が優勝しました。

試合結果は下記の通りです。

男子は福井県警察、女子は福井工大が優勝！

福井県立武道館

9月21日(日)
令和7年度 第73回福井県剣道大会(一般男女の部)



南条地区剣道連盟 3―1

福井地区剣道連盟B

三方地区剣道連盟 4―1

福井県庁

越前地区剣道連盟 1―2

福井工業大学

坂井地区剣道連盟 1―1

(本数勝ち) 敦賀地区剣道連盟

大野地区剣道連盟 0―5

福井刑務所

▽2回戦

福井県警察 5―0

南条地区剣道連盟

三方地区剣道連盟 3―0

福井工業大学

福井地区剣道連盟A 3―1

敦賀地区剣道連盟

福井刑務所 4―1

鯖江地区剣道連盟

▽準決勝

福井県警察 4―0

三方地区剣道連盟

福井地区剣道連盟 0―4

福井刑務所

▽決勝

福井県警察 2―1 福井刑務所

▽成績

優勝 福井県警察

2位 福井刑務所

3位 三方地区剣道連盟

3位 福井地区剣道連盟A



2位の福井県警察



優勝の福井県警察

■一般女子の部

▽1回戦

坂井地区剣道連盟B 1-1
(本数勝ち) 福井地区剣道連盟A
福井工業大学 1-0

坂井地区剣道連盟A



3位の福井地区剣道連盟A



3位の三方地区剣道連盟



優勝の福井工業大学

福井地区剣道連盟B 1-2
越前地区剣道連盟
▽準決勝
福井県警察 1(代表勝ち)-1
福井地区剣道連盟A
福井工業大学 2-0
越前地区剣道連盟
▽決勝
福井県警察 1-2 福井工業大学
▽成績
優勝 福井工業大学
2位 福井県警察
3位 越前地区剣道連盟
3位 福井地区剣道連盟A



3位の福井地区剣道連盟A



3位の越前地区剣道連盟



2位の福井県警察



■令和7年度県剣連表彰受賞者

開会に先立ち令和7年度県剣連「功労賞」と「優秀選手賞」の受賞式が行われました。受賞者は次の通りです。

▽功労賞（敬称略）

- ・松永隆司（敦賀地区剣道連盟）
- ・斉藤憲司（坂井地区剣道連盟）
- ・網田浩樹（南条地区剣道連盟）



▽優秀選手賞（敬称略）

《第67回北信越学生剣道選手権大会男子の部優勝》

・奥田大也（福井工業大学）

《第67回北信越学生剣道優勝大会優勝》

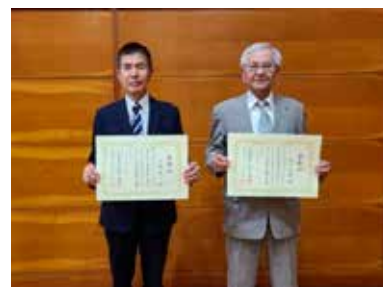
・福井工業大学

〔奥田大也、坂元蒼、高多英章、大倉匠人、笠嶋洗瑠、小山颯太、頃安真翔、田原陽、豊田一生〕

《第52回北信越女子学生剣道優勝大会優勝》

・福井工業大学

〔廣門茜、石井心、小山結衣、谷口美佳、伊藤智尋、小本芽依、川上友梨子〕



令和7年度 第20回福井県中学校秋季新人競技大会 剣道競技

10月17日(金)

敦賀市立体育館

男子団体は南越前中、女子団体は松陵中がともに初優勝！

「令和7年度 第20回福井県秋季新人競技大会 剣道競技」が10月17日(金)、敦賀市立体育館で開催されました。団体戦では男子は南越前中学校、女子は松陵中学校がともに初優勝を果たしました。

結果は次の通りです。

■団体の部

【男子の部】

▽予選リーグ

・Aリーグ

1位 明倫中

2位 南越前中

3位 松陵中

4位 小浜二中

・Bリーグ

1位 中央中

2位 足羽一中

3位 丸岡クラブ

4位 気比中

▽準決勝

明倫中 2-0 足羽一中

南越前中 2-1 中央中

▽決勝

南越前中 2-1 明倫中

▽成績

優勝 南越前中学校 ※初優勝

2位 明倫中学校

3位 中央中学校

3位 足羽第一中学校



初優勝の南越前中学校

【女子の部】

▽予選リーグ

・Aリーグ

1位 松陵中

2位 中央中

3位 森田中

4位 丸岡クラブ

・Bリーグ

1位 鯖江中

2位 武生一中

3位 藤島中

4位 小浜中

▽準決勝

松陵中 3-0 武生一中

中央中 4-0 鯖江中

▽決勝

松陵中 1(代表勝ち)-1 中央中

▽成績

優勝 松陵中学校 ※初優勝

2位 中央中学校

3位 武生第一中学校

3位 鯖江中学校



初優勝の松陵中学校

■個人の部

▽全学年男子の部

優勝 元井汰希(松陵中)

2位 脇本滉大(足羽一中)

3位 佐々木海緒(南越前中)

3位 田中創也(三国中)

▽全学年女子の部

優勝 園田愛心(松陵中)

2位 橋本晏利(丸岡クラブ)

3位 真柄晏葵(鯖江中)

3位 岩谷明依(松陵中)



▽1学年男子の部

優勝 田畑諒(明倫中)

2位 岸本和樹(明倫中)

3位 道下仁貴(松岡クラブ)

3位 澤田旺佑(東陽中)



▽1学年女子の部

優勝 山田愛莉(越前市剣道連盟)

2位 小林希衣(鯖江中)

3位 柳川菜渚(高志中)

3位 村瀬葵衣(福井市剣道連盟)



令和7年度第56回嶺南剣道大会

11月3日(月・祝)

小浜市民体育館

一般男子熟年の部で敦賀市剣連が6連覇!

嶺南地区剣道連盟(敦賀・三方・若狭・大飯各地区剣道連盟)主催、若狭地区剣道連盟主管、福井県剣道連盟など後援の「第56回嶺南剣道大会」が11月3日(月・祝)、小浜市の小浜市民体育館で開催され、嶺南地区各剣連から小学生男子12チーム(36名)、小学生女子2チーム(6名)、中学生男子6チーム(26名)、中学生女子4チーム(19名)、一般男子9チーム(35名)、一般壮年6チーム(18名)、一般熟年4チーム(11名)が参加しました。次回は若狭町での開催になります。試合結果は次の通りです。

▽小学生男子の部

優勝 福井三方道場A(三方地区)

準優勝 福井養正館(敦賀地区)



▽小学生女子の部

優勝 福井三方道場A(三方地区)

準優勝 福井三方道場B(三方地区)



▽中学生男子の部

優勝 松陵中学校(敦賀地区)

準優勝 三方中学校(三方地区)



▽中学生女子の部

優勝 松陵中学校(敦賀地区)

準優勝 三方中学校(三方地区)



▽一般男子の部

優勝 敦賀地区剣道連盟A

準優勝 敦賀地区剣道連盟B



▽一般男子壮年の部(40歳以上)

優勝 敦賀地区剣道連盟C

準優勝 大飯地区剣道連盟



▽一般男子熟年の部(60歳以上)

優勝 敦賀地区剣道連盟A

準優勝 三方地区剣道連盟



令和7年度 福井県高等学校剣道新人大会兼都道府県高校男子二次選考会

11月14日(金)～15日(土)

福井県立武道館

団体男子は敦賀、同女子は北陸が制覇

「令和7年度福井県高等学校剣道新人大会兼都道府県高校男子二次選考会」が11月14日(金)～15日(土)、福井県立武道館で開催されました。結果は次の通りです。

■個人戦

▽男子個人

- 優勝 吉田光太郎(美方高校)
- 2位 堀礼旺奈(北陸高校)
- 3位 崎元煌太(敦賀高校)
- 3位 橋本勝央(丸岡高校)



男子個人戦入賞者

■女子個人

- 優勝 岩瀬こは(敦賀高校)
- 2位 藤田ひかり(北陸高校)
- 3位 森川瑞紀(敦賀高校)
- 3位 塚田穂乃(敦賀高校)



女子個人戦入賞者

■男子団体

▽1回戦

丸岡	5-0	福井高専
工大福井	0-1	啓新
鯖江	0-3	羽水
啓新	0-3	敦賀気比
▽準々決勝		
藤島	1-3	丸岡
北陸	2-1	美方
敦賀気比	1-2	啓新
羽水	0-5	敦賀

▽準決勝

丸岡	2-1	北陸
敦賀	2-0	啓新

▽決勝

丸岡	1-3	敦賀
----	-----	----

▽結果

優勝	敦賀高校
2位	丸岡高校
3位	啓新高校
3位	北陸高校



優勝の敦賀高校

■女子団体

▽1回戦

鯖江	0-3	丸岡
金津	0-5	北陸
敦賀気比	4-0	高志
▽準々決勝		
美方	3-0	丸岡
啓新	0-5	敦賀
藤島	1-4	北陸
敦賀気比	2-2(本数勝ち)	武生

▽準決勝

美方	0-2	敦賀
北陸	4-1	武生

▽決勝

敦賀	1-3	北陸
----	-----	----

▽結果

優勝	北陸高校
2位	敦賀高校
3位	武生高校
3位	美方高校



優勝の北陸高校

■大会感想

敦賀高校剣道部

男子主将 常田和太郎

3年生が引退し、新しくなったチームでの初めての公式戦でした。「全国制覇」を目標に掲げ、この「新人戦優勝」も目指すべきものの一つでした。私たちは目標を達成するために何をしなければならぬのか、日々の稽古やミーティングを通して考えてきました。しかし日頃の稽古や練習試合の中で、上手くないことが多くあり、自分たちはこの先どうなるのだろうと感ずることがありました。それでも、人間的な部分から技術的な細かな部分まで、私たち一人ひとりとしっかり向き合ってきた先生方、剣道に集中できる環境を作ってくれるマネージャー、応援に来てくださった家族や先輩方のおかげもあり、また、この大会に向けてこれまでよりもたくさん話し合う機会を作り、改めて男女合計22名全員が優勝という一つの目標に向かって取り組んできたということがこの結果に繋がったのではないかと感じています。

しかし私たちの目標は全国制覇です。この結果に満足することなく、選抜予選や北信越に向けて男女でアベック優勝できるようにまた一から自分たちの剣道と素直に向き合います。

からチーム力を高めて頑張っています。

北陸高校剣道部

女子主将 西山倫代

日々の稽古では切り返し・打ち込み・基本稽古を中心に反復練習が多い内容でした。その中で気持ちを切り替えたり、視点を変えたりして稽古に励むことで成果が出たと思います。また、チーム全員での話し合いを重ねて、稽古で培ったものを試合でどう活かすかを考えて稽古に取り組んだ結果、大將まで繋いで試合することができました。今回の優勝は挑戦した結果であり、強気で逃げずにしっかりと勝負して、私たちの強みであるチームワークで勝ち切ることでできました。今後もプレッシャーに押されるのではなく、プレッシャーを跳ね返す強い気持ちで、挑戦を続けていきたいです。そのため日々行なっていることをしっかりと見直し、考えて行動して次に活かせるよう稽古に取り組んでいきたいです。

日頃ご指導してくださる先生方、いつも一番近くで支えてくださる保護者の方、一緒に切磋琢磨できる仲間への感謝を忘れずに日々の稽古に励んでいきます。

第48回全国スポーツ少年団剣道交流大会(エンジョイ!剣道フェスティバル2026)福井県予選会

11月16日(日)

勝山市体育館ジオーリーナ

今立スポーツが小学生団体と中学生個人男女いずれも制し、全国スポ少交流大会へ!

2026年3月27日(金)〜29日(日)、富山県の富山県総合体育センターで開催される「第48回全国スポーツ少年団剣道交流大会(エンジョイ!剣道フェスティバル2026に改称)」の本県代表を選出する福井県予選会が11月16日(日)、勝山市体育館ジオーリーナでおこなわれ、小学生団体は今立剣道スポーツ少年団が優勝。個人中学生男子は佐々木海緒選手、同女子では岡井陽菜選手(ともに今立剣道スポーツ少年団)が制し、いずれも全国大会への出場権を獲得しました。

試合結果は次の通りです。

■全国大会予選の部

▽小学生団体の部

- 1位 今立剣道スポーツ少年団
- 2位 福井三方道場
- 3位 坂井剣道スポーツ少年団



1位の今立剣道スポーツ少年団

▽中学生男子の部

- 1位 佐々木海緒
(今立剣道スポーツ少年団)
- 2位 田中颯馬
(今立剣道スポーツ少年団)
- 3位 鳥居睦生(福井三方道場)
- 3位 諸田真大
(南越前町剣道スポーツ少年団)

▽中学生女子の部

- 1位 岡井陽菜
(今立剣道スポーツ少年団)
- 2位 芦田結葉(福井三方道場)
- 3位 吉田ひかり(福井三方道場)
- 3位 中荒江羽未
(鳥羽スポーツ少年団剣道部)

■交流の部

▽小学生低学年の部

- 1位 今立剣道スポーツ少年団
 2位 南越前町剣道スポーツ少年団A
 3位 南越前町剣道スポーツ少年団B
- ▽小学生高学年の部
- 1位 福井三方道場A
 2位 松岡少年剣道教室
 3位 鳥羽スポーツ少年団剣道部
 3位 南越前町剣道スポーツ少年団



1位の佐々木海緒選手(右)と岡井陽菜選手(左)
 ※ともに今立剣道スポーツ少年団

第44回敦賀市長旗争奪 福井県少年剣道錬成敦賀大会

11月24日(月・祝)

敦賀市総合運動公園体育館

優勝は鯖江志士樹館道場、15年振り！

敦賀市剣道連盟主催、福井県剣道連盟など後援の「第44回敦賀市長旗争奪福井県少年剣道錬成敦賀大会」が11月24日(月・祝)、敦賀市総合運動公園体育館で開催されました。県内の小学生チーム42チーム(200名)が参加、県内ではこの大会だけの「勝ち抜き試合」で優勝を競いました。優勝は15年振りに鯖江志士樹館道場が制しました。

開会式の後、12月13日(土)に長野県池田町の「池田町交流センター」でおこなわれる「第49回中部地区剣道少年団研修会」体験・実践発表」で本県代表として発表する砂川亮太朗さん(九頭竜武徳館、森田小学校5年)の発表がありました。

※今回、県内の少年剣道大会では初めての取り組みとして、試合に望む選手が着座する横に「監督席(イス席)」を設けました。今後の大会運営に向けて各団体からのご意見を伺いたいと思います。福井県剣道道場連盟事務局までご意見をお聞かせください。

■成績

試合結果は以下の通りです。

- 優勝 鯖江志士樹館道場
 準優勝 三国少年剣道教室
 3位 福井今立道場
 3位 福井養正館
 敢闘賞 木田剣道スポーツ少年団A
 敢闘賞 福井三方道場A
 敢闘賞 神明スポーツ少年団剣道部
 敢闘賞 松岡少年剣道教室



15年振り優勝の鯖江志士樹館道場



3位の福井養正館



3位の福井今立道場



準優勝の三国少年剣道教室

敢闘賞の木田剣道スポーツ少年団A、福井三方道場A、神明スポーツ少年団剣道部、松岡少年剣道教室



【特別賞】

▽5人抜き

佐野湊太(鯖江志士樹館道場 ※2回)

丸山陽大(福井今立道場)

安富公紀

(金井学園ジュニア剣道教室A)

日高清史郎(三国少年剣道教室)

千田望乃佳(福井三方道場B)

小堀隼弥(福井三方道場A)

篠崎蒼海(芦原少年剣道教室)

定政怜汰(森田少年剣道教室A)

宮口雄暉

(木田剣道スポーツ少年団A)

山口真央(福井養正館)



特別賞5人抜きの各選手→

県剣連会議・事業等

令和7年度第3回理事会

10月15日(水)

福井県立武道館

片山会長の挨拶の後、定款第47条に基づき片山会長を議長に選出し、議事に入りました。

■議題

なし

■報告事項

一、令和7年度前期事業報告並びに後期事業予定について

西川専務理事が資料により報告しました。

二、令和7年度前期(9月末現在)収支計算書並びに後期収支見込について

西川専務理事が資料により報告しました。

三、国民スポーツ大会滋賀大会について

堀江常務理事が結果について報告しました。

四、その他

齋藤理事が第60回社全日本居合道大会について報告しました。

以上で議事を終了し、閉会しました。

〔県剣連〕令和7年度全剣連後援剣道講習会(審判法)

11月2日(日)

福井県立武道館

県剣連が試合・審判法講習会開催、各地区・団体から48名が参加

福井県剣道連盟は11月2日(日)、福井県立武道館で、全日本剣道連盟より全剣連試合・審判委員の本名和彦先生(範士八段、茨城県)と安江正紀先生(教士八段、石川県)をお招きし、「令和7年度全日本剣道連盟後援講習会(試合・審判法)」を開催しました。

午前中は審判の基本動作講習で、審判宣告、旗の表示、入場・退場の各要領、審判員の位置取りと対応の仕方等の講習、午後は模擬試合を通じて審判実技の講習をいただき、最後に両先生による指導稽古と相互の稽古を行いました。

県内各地区剣連および各団体から48名が受講し、模擬試合には新風館5名、森田剣道教室7名、木田剣道スポーツ少年団4名、金井学園ジュニア剣道教室8名の小学生に協力いただきました。



***** 〔全剣連〕令和7年度剣道有功賞、少年剣道教育奨励賞発表

剣道有功賞に河合岩暢氏(三方地区)、少年剣道教育奨励賞に三国少年剣道教室と鳥羽スポーツ少年団剣道部が受賞

全日本剣道連盟は11月5日(水)、「剣道有功賞」受賞者と、「少年剣道教育奨励賞」受賞団体を発表しました。本県からは「剣道有功賞」に三方地区剣道連盟の河合岩暢氏、「少年剣道教育奨励賞」には坂井地区剣道連盟の三国少年剣道教室と鯖江地区剣道連盟

連盟の鳥羽スポーツ少年団剣道部に贈与されることになりました。剣道有功賞の伝達授与は2026年1月4日(日)の県剣連初稽古会で、少年剣道教育奨励賞の伝達授与は同じく2026年2月23日(月・祝)の令和7年度福井県小学生学年別剣道選手権大会で行う予定です。

■剣道有功賞

地域又は特定の領域において剣道の普及発展のため長年にわたり功績があり、徳操高潔な方、段位・称号には関係なく、剣道の普及発展のため功績があった方に贈る。

▽河合岩暢氏

全日本学校剣道連盟推薦、福井県学校剣道連盟会長、福井県剣道連盟審議会副会長、三方地区剣道連盟

■少年剣道教育奨励賞

少年剣道の指導面で、大会などの成績とは関係なく、草の根的に目立たぬ活動が続けて、剣道の底辺を支えておられる団体・組織等に対して、その労に報いるとともに、志気を鼓舞するために表彰する。

▽三国少年剣道教室

福井県剣道連盟推薦、坂井地区剣道連盟

▽鳥羽スポーツ少年団剣道部

福井県剣道連盟推薦、鯖江地区剣道連盟

県剣連公式ホームページについて

広報部より「お願い」

当連盟公式ホームページは、福井県剣道界のポータルサイトとして「福井県内の剣道のことなら何でもわかる」を目指し、県剣道連盟会員への各種情報の提供はもとより、県内剣道人口の拡大を目指して、普及部と連携して少年・女性剣士の普及・拡大のための情報提供、さらにこれから剣道を始めよう、復活しよう、転勤で福井に來たから剣道したい、などの方に役に立つ情報の提供を目的としています。

つきましては広報部より次の3点について、各地区剣道連盟・各団体のご協力をお願いします。

①公式ホームページのURL、QRコードの記載

ホームページへのアクセス促進のため、各地区剣道連盟・各団体が行う各大会、事業等の「実施要項」、「プログラム」等に、この公式ホームページの「URL」、スマホからのアクセス用「QRコード」の記載をお願いします。

【ホームページのURL】

<https://fukui-kendo.com/>

【スマホアクセス用QRコード】





②各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などのトピックス提供

ホームページの「特集」ページに各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などのトピックスを取り上げていますので、トピックス情報がありましたら、原稿と画像をご提供いただきたくお願いします。

③各地区剣道連盟・各団体の「道場一覧」の修正情報

各地区剣道連盟と傘下の各団体・教室・道場の情報に変更・修正・追加、画像変更があれば、次の送付先に連絡ください。

※原稿・画像データ送付先

県剣連事務局

県剣連広報部 上嶋

各地区剣連トピックス

「越前地区剣連」大嶋雅典氏居合道七段昇段祝賀会を開催

越前市剣道連盟の有志は8月24日（日）、越前市内のまきた屋で、6月28日（土）茨城県でおこなわれた「全剣連居合道七段審査会」で七段に合格された大嶋雅典さんの「居合道七段昇段祝賀会」を開催しました。市剣連会員をはじめ34名が出席、大嶋さんの剣道七段とともに居合道七段のW七段という県内初の「快挙」をお祝いしました。

大嶋さんは決して早く居合道を始められた訳ではないのに、地道に稽古を重ねられて七段昇段を成し遂げられました。お礼のご挨拶では「稽古は裏切らない」「出会いの大切さ」など心にしみるフレーズが溢れ、大変勉強になりました。

これから県内のトップリーダーとしてご指導をお願いします。（記…越前市剣道連盟 森岡裕一）



【敦賀地区剣連】9月28日（日）、福井養正館が老人ホームの草刈り奉仕活動

福井養正館が9月28日（日）、敦賀市内の特別養護老人ホーム「溪山荘」で草刈りの社会奉仕活動をおこないました。子どもたちに社会貢献の大切さを学んでもらい、利用者が快適に施設を使っていただけのようにとの思いで、2011年から実施している恒例行事の一つで、指導者、小

学生・中学生館員、保護者が参加しました。

養正館のみんなを待っていたかのようなすごい雑草で、施設周辺でフェンスに絡むツルや繁茂する雑草などを取り除きました。休憩では溪山荘の常田施設長よりかき氷の差し入れをいただき、しつかり体温を下げて作業を再開しました。最後に新旧キャプテンから溪山荘さんにメッセージを送らせていただきました。福井養正館では剣道を通じて奉仕の心を養うということも大切にしています。今年の草刈り奉仕活動も、暑かったけど終われば達成感で清々しい心になり、今年も大切な心を学ぶことができました。





「敦賀地区剣連」10月5日(日)に「第106回敦賀市民剣道大会」開催

地区別対抗戦は栗野地区が優勝

敦賀市剣道連盟は10月5日(日)、敦賀市中郷体育館で「第106回敦賀市民剣道大会(敦賀市民スポーツ祭オープン競技)」を開催しました。小学生、中学生、高校生、一般合わせて約150人が参加。小学生初心者4人の演武にはじまり、小学生・中学生男子の級別別個人戦や中学生女子個人戦、高校男女個人戦、小学生団体戦、中学校男女団体戦と、小学生、中学生、高校生、一般でチームを組む地区対抗戦もおこなわれ、市民大会ならではの和やかな大会となりました。開会式には堤副市長、花木市教育長、中村市スポーツ協会会長、同寺崎副会長、同力野副会長(県議会議員)、北川県議会議員にご臨席いただき激励のご挨拶をいただきました。

開会式後、今秋のねんりんピック岐阜2025に県代表として出場する奥井会長、上嶋副会長、谷口会員に市剣連から激励金が授与されました。試合結果は次の通りです。(優勝のみ記載)

■個人戦

▼小学生7～9級の部
優勝 森康太郎(栗野剣道教室)

▼同4～6級の部

優勝 岩谷理功(福井養正館)

▼同1～3級の部

優勝 山口莉央(福井養正館)

▼中学生男子1級以上の部

優勝 元井汰希(松陵中学校)

▼同2級以下の部

優勝 奥井勇翔(気比中学校)

▼中学生女子の部

優勝 園田愛心(松陵中学校)

▼高校男子の部

優勝 出口慧(敦賀高校)

▼高校女子の部

優勝 岩瀬こは(敦賀高校)

■団体戦

▼小学生

優勝 福井養正館

▼中学生男子

優勝 松陵中学校

▼中学生女子

優勝 松陵中学校B

▼地区別対抗

優勝 栗野地区



地区別対抗戦で優勝した栗野地区



初心者による演武(素振り)



開会式 栗野剣道教室大野主将による選手宣誓



ねんりんピック岐阜2025に県代表で出場する奥井会長と上嶋副会長に市剣連から激励金贈呈

福井県剣道寿康会は滋賀県の淡海剣友会との親睦交流を図る「令和7年度淡海剣友会福井県剣道寿康会交流稽古会」を10月11日(土)、敦賀市中郷体育館で開催しました。淡海剣友会からは13名、福井県剣道寿康会からは会員24名が参加しました。

松田事務局長の指揮による入念な準備体操、素振りの後、全員で基本稽古、最後は打ち込みと掛かり稽古までおこないました。小休憩の後、10月19日(日)～20日(月)、岐阜県関市で開催される「ねんりんピック岐阜大会」に出場する滋賀県チームと福井県チームによる試合稽古をおこない

【福井県剣道寿康会】10月11日(土)に「令和7年度淡海剣友会・福井県剣道寿康会交流稽古会」開催

福井県剣道寿康会は24名が参加



初心者による演武(元立ちへの打ち込み)



参加した福井県剣道寿康会会員



ねんりんピック滋賀県チームとの試合稽古

ました。最後に参加者全員で地稽古を行い、心地よい汗を流しました。夜は場所を敦賀市の温泉施設のリラ・ポートに移して、希望者による温泉入浴と懇親会で滋賀県剣友との親睦、交流を深めました。

【福井県剣道道場連盟】10月31日(金)に「剣道体験・実践発表会 県予選会」開催

最優秀賞「中学生の部」に向井結衣さん(敦賀市剣道スポーツ少年団)、「小学生の部」に砂川亮太郎さん(九頭竜武徳館)

福井県剣道道場連盟は、剣道を通じて学んだことを作文で発表する「第48回中部地区剣道少年団研修会 福井県予選会 体験・実践発表会」を10月31日(金)、敦賀市の「敦賀市福祉総合センターあいあいプラザ」で開催しました。福井県剣道道場連盟加盟の各道場から小学生の部に5人、中学生の部に3人が発表、同連盟の奥井俊雄副会長ら8人が審査しました。

結果は次の通りです。

※小・中学生各最優秀賞1名は長野県剣道道場連盟主管で12月13日(土)に、長野県池田町の「池田町交流センター」で行われる「第48回中部地区剣道少年団研修会」で発表します。

■小学生の部

最優秀賞 砂川亮太郎

(九頭竜武徳館、森田小学校5年)

優秀賞 宮下倫太郎

(豊神館、豊小学校6年)

優良賞 安富公紀



体験・実践発表する最優秀賞の砂川亮太郎さん



右から優秀賞の宮下倫太郎さん、最優秀賞の砂川亮太郎さん、優良賞の安富公紀さん

(金井学園ジュニア剣道教室、社西小学校5年)
敢闘賞 奥井美月
(敦賀剣道錬成館、南小学校5年)
敢闘賞 伊原碧人
(敦賀市剣道スポーツ少年団、松原小学校6年)

■中学生の部

最優秀賞 向井結衣

(敦賀市剣道スポーツ少年団、松陵中学校2年)

優秀賞 河合浩義

(金井学園ジュニア剣道教室、至民中学校1年)

優良賞 市村奏汰

(豊神館、鯖江中学校1年)



体験・実践発表する最優秀賞の向井結衣さん



右から優秀賞の河合浩義さん、最優秀賞の向井結衣さん、優良賞の市村奏汰さん

■小学生の部 最優秀賞



審査風景

九頭竜武徳館

森田小学校5年 砂川亮太朗

剣道一直線

「始め」審判の、試合開始のかけ声とともに目の前の勝負に全力で挑む。120秒間集中する。1秒たりとも気を抜いてはいけない。「ヤー」腹の底から力いっぱい声を出す。相手にプレッシャーをかけ一本を取りに行く。今まで稽古してきた技を繰り出す。相手との攻防戦の末、一瞬のスキを見つけ、相手に有効打突を決める。その瞬間旗がいつせいに上がる。これがぼくの理想の戦い方だ。

ぼくは剣道が大好きだ。剣道を始めて約3年になる。始めた頃は、厳しい稽古で嫌になる時がよくあった。正直稽古へ行きたくなかった。毎回行く直前で「行きたくない。痛いし寒いしもう嫌だ」と泣いてしまいがちだった。母に励まされ、休まず毎日稽古に行く。そんな毎日をくり返しながら目の前の稽古を頑張ってきた。年度末に、道場の先生から皆勤賞の発表がある。そこで、なんと2年連続皆勤賞の表彰をされた。この表彰がぼくにとって転機となり、頑張れる糧となった。

剣道を通じて、勝負以外にも、様々なことで成長ができたように思う。

一つ目は、礼儀作法が身についたことだ。剣道は「礼に始まり、礼

に終わる」という言葉があるように、礼儀が重視される競技だ。試合の勝敗とは別に、相手を尊重し、正しい礼の仕方から正座の仕方、挨拶の仕方など重視されている。剣道を習うことで礼儀作法が自然と身に付き、正しく礼やあいさつができるようになった。学校の先生や近所の方、または病院へ受診した際も、「お願いします」「ありがとうございます」「お願います」など、あいさつをしている。「大きな声であいさつしてくれていいね」「剣道をしている子は礼儀正しくていいね」とほめてもらう機会が増えた。剣道をしている子は誰しもが「礼儀正しい」と周りの人はとらえているのではないかとぼくは考えた。これは「礼に始まり、礼に終わる」という教えを守り続けてきた先人の剣士達のおかげではないだろうか。ぼくは一剣士として名が恥じぬようこれからも相手に対し礼儀を尽くすことをしていきたい。

二つ目は、コミュニケーション能力が身についたことだ。剣道は、他道場の先生に助言をもらうことも多く、様々な人とのコミュニケーションが必要となる。ぼくは、錬成会などで対戦した子に声をかけ、友達になることが多い。特に印象に残っている友達は、試合をした時、強くて自分にはかなわない相手だった。上

下白の道着が格好よく、思わずその子に「友達になろう!」と声をかけた。「いいよー」と快く言ってくれ、それから、遠征先で会うたびに話す仲になった。県内外に友達ができ、今まで稽古をしてきたことを全力でぶつけてお互い試合をする。つらい錬成会でも、友達の道場が参加するとわくわくした気持ちになる。友達の力は大きい。

最後に、試合で負けてばかりで挫折したり、稽古で思うようにいかないこともある。「何が悪かったのか」「次にはどう活かすか」など日々模索する。竹刀の持ち方構え方、足さばき、打突までのすべてがつながっていることを意識し、自分自身の克服しなければならぬ点の原因を知り、稽古に取組むよう日々精進し明日へつなげる。そう考えられるようになったのは、剣道をするこによって、精神力や忍耐力が強くなったからだ。

多くの剣道人生はまだ始まったばかりだ。今後、つらいこと、苦しいことがでてくるだろう。その時は立ち止まって、次へ活かせるよう考え、理想の試合ができるように、一つ一つ地道に努力をする。また、新しい技や攻め方を研究し実戦につなげるよう試行錯誤する。これからもずっと「剣道一直線」挑戦することは楽しい。

一番の敵は、剣道をするときに現れる、すぐに気を抜いてしまう自分自身。いつかは気を抜いてしまう自分に勝ちたい。長い戦いになることだろう。自分自身に戦いを挑み続ける。己に打ち勝て。

「いざ、勝負!」

■中学生の部 最優秀賞



敦賀市剣道スポーツ少年団

松陵中学校2年 向井結衣

私の剣道

保育園年中から始めた剣道は、早10年目になる。

中学校に進学してから、なかなか勝つことが出来ず、これまで稽古で積み重ねてきた自分の剣道が崩れていくような気がした。チームのみんなに迷惑をかけ、落ち込むこともあった。「このままではいけない!」これからは、どのような剣道を目指せばいいのか?なかなか良い答えは見つからなかった。

ある日、父が持っていた本を何の気なしに手にして読んでみた。「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」『もしドラ』といわれる小説本である。専門書や小説を読むのが苦手な、なかなか最後まで読むことの出来ない私だが、物語として楽しみながら最後まで読めた本である。

2009年に発行された小説で、著者は岩崎夏海さんという方です。すごく可愛い名前なのでどんな方だろうとインターネット検索してみたら丸坊主のおじさんだった。

本のあらすじは、野球嫌いな主人公が、高校野球部の女子マネージャーをしていていた親友が重病で入院してしまい、代わりを務めるべく女子マネージャーになる。やるからには目指すは一つ、野球部を甲子園に連れて行くこと!マネージャーの入門書を探していたが、間違つてドラッカーの『マネジメント』を購入してしまう。この『マネジメント』の内容は企業経営や組織論のビジネス書である。そのマネジメントの要素を高校野球に応用し、野球部を「顧客に感動を与える」組織と定義する。バラバラだった部員の心をひとつにして、各人の強みを活かし、マーケティングやイノベーションといった経営戦略を実践することで、チームを甲子園出場へと導いていく物語である。

『もしドラ』では、野球部における顧客を「応援者」ととらえ、応援者が応援したくなるようなチーム作りを目指しています。そこで、組織を成功に導くためのドラッカー理論の要素が具体的に描かれています。

一、真摯さ
組織に成果をあげさせることに、誰よりも執着する姿勢と解釈できます。

二、マーケティング
地域イベントや清掃活動など、地域住民と交流し、応援を呼びかけます。

三、イノベーション
部員の強みを活かし、新しいことにも挑戦することで、組織に改革をもたらそうとします。四、人材育成
個人の強みを最大限に発揮させ、責任を持たせることも重視されます。

野球と剣道、競技は違うけど、この本を読んだことで、私のこれからの剣道を見直すきっかけとなった。

私の剣道 マネジメント

一、全国大会出場を目標とし、全員で共有することを出発点とする。
二、目標達成のために技術向上、チー

ムとしての戦略の計画を立てる。
三、顧客は選手であり、「剣道をやっている楽しい」「成長できた」と感じられる環境づくりをする。

四、個人の弱みを補い、強みを最大限に引き出すチーム体制の構築をして、「試合で勝つための練習」という目的意識を持つ。

と考えた。与えられた使命や役割に真剣に向き合い、選手としてはもちろん全力で戦い、更にチームを勝利に導くようなマネジメントができたらと思っています。そして、剣の理法を修練することで『正しい剣道』を追い求めていきたい。

【若狭地区剣連】11月9日(日)に【第10回田村周山杯剣道交流大会】開催

11月9日(日)

小浜市民体育館

中学生の部、男子福井今立道場、同女子福井養正館と金井学園ジュニア剣道教室が3位入賞

小浜市剣道連盟は、連盟設立に尽力し40年以上の長きにわたり小・中学生を主体に剣道を指導され、青少年育成、剣道普及・発展に努められた田村周山先生を顕彰する「第10回田村周山杯剣道交流大会」(主催・小浜市剣道連盟、後援・福井県剣道連盟など)を11月9日(日)、小浜市民

体育館で開催しました。県内はもとより京都府、大阪府、兵庫県、岐阜県、愛知県、三重県、岡山県、石川県から小学生男子19チーム(95名)、小学生高学年31チーム(155名)、中学生男子24チーム(120名)、中学生女子20チーム(60名)が参加しました。全国大会上位入賞チームが加算する中、県内チームの奮闘も見られました。

試合結果は次の通りです。※画像は福井県内入賞チームです

■小学生低学年の部

- 優勝 志道館学園A(岐阜県)
- 準優勝 昇龍館一福道場(岡山県)
- 3位 森本剣道塾(愛知県)
- 3位 大阪剣武館(大阪府)
- 敢闘賞 京都太秦少年剣道部(京都府)
- 敢闘賞 東レ居敬堂(愛知県)

■小学生高学年の部

- 優勝 志道館学園A(岐阜県)
 - 準優勝 京都太秦少年剣道部(京都府)
 - 3位 昇龍館一福道場(岡山県)
 - 3位 京都砂川少年剣道錬成会(京都府)
 - 敢闘賞 東レ居敬堂(愛知県)
 - 敢闘賞 福井今立道場(福井県)
 - 敢闘賞 八心会(岐阜県)
 - 敢闘賞 志道館学園B(岐阜県)
- 中学生男子の部
- 優勝 昇龍館一福道場(岡山県)
 - 準優勝 子宝会(石川県)
 - 3位 福井今立道場(福井県)

- 3位 昇龍館一福道場B(岡山県)
- 敢闘賞 志道館学園A(岐阜県)
- 敢闘賞 八心会(岐阜県)
- 敢闘賞 福井養正館(福井県)
- 敢闘賞 子宝会B(石川県)



中学男子3位入賞と小学生高学年敢闘賞受賞の福井今立道場



中学男子敢闘賞受賞の福井養正館

■中学生女子の部

- 優勝 八心会(岐阜県)
- 準優勝 志道館学園A(岐阜県)
- 3位 福井養正館(福井県)
- 3位 金井学園ジュニア剣道教室(福井県)
- 敢闘賞 鯖江志士樹館道場A(福井県)
- 敢闘賞 京都山科少年剣友会(京都府)
- 敢闘賞 鯖江志士樹館道場B(福井県)





3位入賞の福井養正館

【1月】

1月～3月の主な事業予定

- ・1月4日(日) セーレン・ドリームアリーナ(福井県営体育館)
- 【県剣連】令和8年初稽古(剣道・居合道)
- ・1月10日(土)～11日(日) 兵庫県



敢闘賞受賞の鯖江志士樹館道場B



3位入賞の金井学園ジュニア剣道教室

【2月】

- 立武道館
- 【全剣連】第30回剣道女子審判法講習会
- ・1月17日(土) 敦賀市立体育館
- 【県剣連】令和7年度福井県剣道大会(中学)兼県中学校剣道冬季強化大会
- ・1月18日(日) 敦賀市立体育館
- 【県剣連】令和7年度福井県剣道大会(高校)兼冬季高校選手権大会
- ・2月7日(土)～8日(日) 富山県西部体育センター(砺波市)
- 令和7年度第35回北信越高等学校剣道新人大会
- ・2月11日(水・祝) 丹南総合体育館
- 【県剣連】令和7年度第4回段位審査会
- ・2月14日(土) 山梨県
- 【全剣連】令和7年度2月剣道七段審査会(山梨)
- ・2月15日(日) 山梨県
- 【全剣連】令和7年度2月剣道六段審査会(山梨)
- ・2月15日(日)
- 【県剣連】第74回全日本都道府県対抗優勝大会・第18回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会福井県選手選考会
- ・2月15日(日)
- 【県剣連】令和7年度居合道合同稽古会
- ・2月22日(日) 越前市アイシンス

【3月】

- ポーツアリーナ(武生中央公園総合体育館)
- 第41回北陸三県道場少年剣道大会
- ・2月23日(月・祝) セーレン・ドリームアリーナ(福井県営体育館)
- 【県剣連】令和7年度福井県小学生学年別剣道選手権大会
- ・2月28日(土) 福岡県
- 【全剣連】令和7年度2月剣道七段審査会(福岡)
- ・3月1日(日) 福岡県
- 【全剣連】令和7年度3月剣道六段審査会(福岡)
- ・3月8日(日) 京都市
- 【全剣連】令和7年度居合道六・七段審査会(京都府)
- ・3月15日(日)
- 【県剣連】令和7年度臨時評議員会
- ・3月22日(日)
- 【県剣連】令和7年度剣道昇段審査研修会・剣道審査員研修会
- ・3月26日(木)～28日(土) 春日井市総合体育館
- 第35回全国高等学校剣道選抜大会
- ・3月26日(木)～28日(土) 富山県
- 第48回全国スポーツ少年団剣道交流大会
- ・3月29日(日) アダストリアみとアリーナ
- 第67回文部科学大臣杯全国選抜少年剣道錬成大会

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

松岡剣道クラブ

地域指導者 平田 慈将

松岡剣道クラブは令和7年4月、「教員の働き方改革に伴う部活動の地域移行」の流れを受け、永平寺町松岡地区で40年以上に渡り活動してきた「松岡剣道教室」に、同じく長い歴史を持つ「松岡中学校剣道部」が合流する形で発足しました。現在は部活動の機能を一部残しつつ、松岡小体育館で月・木(19:00~21:00)、松岡中武道場で土(8:30~11:30)を本稽古の日とし、小学生7名、中学生11名、高校生、一般も交え、共に学び合い、切磋琢磨、活動しております。総監督、竹本浩二先生の信条として、「質を高める、量を熟す、真似をする」、この三つを上達の土台とし、挨拶、返事、言葉遣い、人の気持ちを思い行動ができる子どもたちの育成を目標としております。人口の多い地域ではありませんので、習い事の多様化、部活動参加の自由化の中でどのように生徒数を確保してゆくか、またクラブ化ゆえの敷居の高さをどのように払拭し、初めて剣道に興味を持ち参加する子ども、保護者が継続しやすい環境をい



かに作り上げるかが今後の大きな課題です。開かれた地域の道場、また一つの拠点として、出稽古、合同稽古、練習試合、大会参加など、人の流れが常により、県内外広く交流させていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

剣道称号・段位 合格者

県剣連令和7年度第1回居合道段位審査会

・8月24日(日) 越前市武道館

居合道初段

奥山 要 会社員
万所 央 会社員
田辺 寿之 団体職員
宮川 保則 無職
井上 幹男 無職
居合道二段
梅原 保高 自営業
日下 太一 会社員
辻 慎二郎 会社員

全剣連剣道七段審査会(愛知)

・11月8日(土) 名古屋枇杷島スポーツセンター

鹿本 裕登(福井地区)
山田 英典(越前地区)
湯浅 洋子(福井地区)

全剣連剣道七段審査会(愛知)

・11月9日(日) 名古屋枇杷島スポーツセンター

牧野 宏祐(坂井地区)
大森 豪(福井地区)
梅原 保高(越前地区)
田中 隆佳(坂井地区)
丸山 晃生(越前地区)
北林 直樹(坂井地区)

土井 清司(三方地区)

全剣連剣道・居合道称号(教士・錬士・審査会)

・11月20日(木) 日本武道館

剣道錬士

富田 成慈(鯖江地区)
宮田 知徳(福井地区)
高橋 克平(鯖江地区)
剣道教士
中村 好伸(福井地区)
澤田 泰治(鯖江地区)
山田 裕樹(福井地区)
河合 岩暢(三方地区)
居合道錬士
長谷川 翔平(勝山)

県剣連令和7年度第3回剣道段位審査会

・11月23日(日)・祝 福井県立武道館

【初段】 48名

朝倉 康太 成和中学校
吉田 空哉 進明中学校
向井 健 春江中学校
吉田 悠真 朝日中学校
長谷川 大誠 三方中学校
篠崎 翼 芦原中学校
吉田 幸彌 足羽第一中学校
道下 仁貴 永平寺中学校
坪川 穹太 大東中学校
内田 幸希 三国中学校
山田 空渡 明倫中学校
高村 遊蓮 足羽第一中学校
橋詰 樹人 足羽第一中学校

敦賀高校
 敦賀高校
 敦賀高校
 敦賀高校
 福井工業大學
 教員
 啓新高校
 敦賀高校
 美方高校
 敦賀高校
 福井工業大學
 國土館大學
 國土館大學
 教員
 警察官
 看護師
 公務員
 自營業

ペンリレー 女性剣士の部屋

坂井地区剣道連盟 石橋 沙希

今だからこそ味わえる剣道

私が剣道を始めたのは小学5年生の頃でした。初めはただ「やってみたい」という軽い気持ちでしたが、竹刀を握って道場の空気を吸い込んだとき、言葉にできない凛とした緊張感に魅せられ、気づけば中学・高校と剣道部での日々が当たり前になっていきました。あの頃は稽古がきつくて体は素直に動き、試合で勝てば嬉しく、負ければ悔しくて泣く——そんなまっすぐな時間を過ごしていました。

高校を卒業しても剣道との縁は途切れず、社会人になってからも時々試合に出たり、ふらりと道場に顔を出したりしていました。しかし妊娠・出産を機に生活の中心は大きく変わり、自然と剣道から距離を置くようになりました。「何年か休んでもまた戻るだろう」と思っていたものの子育ての日々は慌ただしく、竹刀を握ることはすっかり遠いことのように感じられました。

それでも、心のどこかでずっと剣道を恋しく思っていたのだと思います。3年ほど前、ようやく生活に少し余裕が生まれ、「もう一度剣道をしたい」という気持ちが強くなりました。久しぶりに道場に戻ったとき、懐かしい足音や竹刀の打ち合う音が胸に響き、「帰ってきた」と心から思えた瞬間を今でも鮮明に覚えています。しかし、再開した剣道は昔と全く同じではありませんでした。頭ではわかっていても体がついてこない、踏み込みが遅れる、思ったように打てない。若い頃のように動けず、悔しさやもどかい。

しさを何度も味わいました。昔の自分と比べて落ち込むこともありましたが、でも、だからこそ気づけたことがあります。それは「上手いかなくても、剣道は楽しい」ということです。

若い頃は勝ち負けや結果が気になり、「強くなりたい」という思いがいつも自分を急かしていました。ところが今は、技が決まったときの小さな喜びや、身体が軽く動けた日の爽快感、仲間との稽古で汗を流す時間——そのひとつひとつがとても愛おしく感じられます。以前のような体力やスピードはなくなっても、心の中の剣道の位置はむしろ大きくなり、深くなっているように思います。

剣道は、技術だけでなく礼節や心構えを学ぶ武道です。相手を尊重し、自分を律し、一本に込める覚悟を大切に——その精神は、日常生活にも静かに影響を与えてくれています。若い頃には気づけなかった剣道の魅力を今ようやくゆっくり味わえているように思います。

これからも、無理のない範囲で一步一步に進みながら、剣道を続けていきたいと思っています。再開した今の私は、昔よりずっと剣道が好きです。剣道を通して得たつながりと学びを大切にしながら、これからも成長していきたいと感じています。



令和7年10月の「お通杯大会」に出場した石橋沙希さん(右から2番目)

私たちは「福井県の剣道」を応援しています



《福井県剣道連盟 賛助会員》

福 井 鋌 螺 (株) 様
医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様
メディアボックス(株) 様
医療法人 相 木 病 院 様
株 アイビックス 様
カ ラ ヤ (株) 様
衆議院議員 稲 田 朋 美 様
高 森 政 義 様
鶴 田 裕 一 様

(株)マルツホールディングス 様
株 法 美 社 様
千寿会医療福祉グループ 様
ノ ザ キ モ ー タ ー 様
い づ み 観 光 バ ス (株) 様
伊 藤 歯 科 ク リ ニ ッ ク 様
参議院議員 山 谷 え り 子 様
岩 崎 貞 夫 様
卯 目 ひ ろ み 様

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

■年会費	個人会員	1口 10,000円
	公益または公益に準じる事業を目的とする団体	1口 10,000円
	企業等	1口 30,000円

- 特 典
- ①当連盟の開催する大会の案内
 - ②当連盟のホームページへの掲載
 - ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
 - ④当連盟の事業に対して意見を述べる
 - ⑤剣道だよりへの掲載
 - ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
TEL・FAX: 0776-28-6616 e-mail: fkikendo@herd.ocn.ne.jp